



日本マスターズ水泳選手権大会 神戸PIプールにて(63-9-13)
 後列 宮部、上田、山野、藤本、高岡、
 中列 石井、葉室鉄夫氏。小山、小山夫人、三宅、前田(和)、岩切、
 前列 前田(修)、金、井上、佐敷、武政、田淵、手島、



凌泳マスターズ懇親会 神戸KUCにて、(62-9-12)
 後列 前田、岩切、榊原、高岡、金、井上、佐敷、安井、武政、宮部、上田、島崎、
 中列 田淵、丸山、藤本、抜山映子参議院議員
 前列 山野、石井、小山、松田、手島、橋本、



総会後の懇親会 エクランにて (62-5-17)
 後列=有利、後呂、丸山、平石、井上、金、北村、近藤、上田、田中、山野、
 中列=岡見、榊原、加地、松田、山口
 前列=佐藤、石井、吉野副会長、小山会長、山口副会長、三宅、



関西支部忘年会 大阪凌霜クラブにて (62.12.2)
 後列=橋本、野田、上田、杉野、田中、北村、坂井、川原田、堂本、
 中列=金、井上、坂田、松田、佐藤、富岡
 前列=岡、山越、石井、榊原、



◀ 三商戦(一橋大プール)
対一橋

三商戦(一橋大プール)
対市大 ▶



◀ 関国400m 継泳
東から郡へ引き継ぎ



左より
 黒田、安井、甲野、近藤、金沢、森田、郡、浅川、富麻、笠田、井上
 川原田(OB)、上田(OB)、小笠原、竹本、守冲、奥村、中塚、後呂、古谷、山口、戸井、小島、
 浜田(OB)、村田、林、田中、岡崎、是枝、柴田、羽瀬、東、植松、三宅、
 島崎(OB)、枝沢、川上、徳水、坂田、井口
 有利、

関国にて。

目 次

(表紙題字 藤井正太郎先先)

みんな百まで泳ぎ忘れず	昭 7 学 1	小山賢之助	1
駈け出し時代の思い出	昭 9 学 3	宮本 伯夫	2
総 会 懇 親 会	昭 27 学 2 2	石井 義章	5
支部だより			
東京凌泳会夏季例会の報告	昭 4 2 L 1 5	宮部 高博	7
関東支部臨時幹事会	昭 4 2 L 1 5	宮部 高博	7
凌泳会阪神地区忘年会開催の記	昭 3 0 T 3	堂本 直正	8
	昭 3 1 B 4	富岡 道雄	8
凌泳会東京支部忘年会報告	昭 4 2 T 1 5	阿部 洋三	9
会員からのお便り			
凌泳総会案内状返信より			1 0
月見の宴案内状返信より			1 4
マスターズコーナー			
マスターズへのお誘い	事務局	石井 義章	2 4
昭和 6 2 年度短水路大会			2 4
ジャパンマスターズ' 87	凌泳マスターズ事務局	石井 義章	2 5
ジャパンマスターズ' 87 参戦記	昭 4 1 S 1 4	手嶋 忠之	2 9
現役部員寄稿			
「MORE SMART」	主将水球主任	守沖 敦	3 2
予 感	競泳主任	竹本 和広	3 3

水泳部員であるためには	主 務	黒田 茂	33
卒部の辞	昭和63年	卒部者一同	35
現役部員紹介		二回生一同	43
昭和63年度 活動報告			50
現役部員自己ベスト一覧表			72
歴代10傑表			74
凌泳会会則			81
凌泳会役員名簿			85
凌泳会会員名簿			87
「商神」「応援歌」			116
編集後記			121

みんな百まで泳ぎ忘れず

(昭7学) 小 山 賢之助

人は男女にかかわらず一度水泳を覚えたら一生忘れない。

凌霜の大先輩、石井光次郎さん(故人神戸高商、明治45年卒、第6回生)の御嬢さんである石井好子さん(芸名)は昨年の文化の日にシャンソン歌手として紫綬褒章を受章されたが、それより少し先の9月26~28日、中華民国台湾の基隆で行われた第9回マスターズ水泳大会兼国際親善大会(参加者中国1,250名、日本153名、計1,400名)において50米平泳で見事1着となり、金メダルを獲得された。本件については、テレビでも放送されたし、石井さん御自身も週刊新潮(11月5日号)で一文を物にされているので御存知の方も多いと思います。石井さんは女学校時代に泳ぎを習われたが、その後数十年も泳ぐ機会が全くなかったところ父君光次郎さんが亡くなられた8年前から水泳を再開され今回の栄冠を得られたのである。人間は百まで泳ぎを忘れないのである。日本マスターズ水泳協会では、1万5千円出せば百歳まで有効な会員登録制を設けている。

日本の水泳も今ではオリンピックでのメダルは縁が薄くなったが、かつて「水泳日本」と言われていただけあって水泳人口は老若を問わず非常に多い。日本マスターズ水泳協会は去年12月で創立以来満3年8ヶ月になるが、既に加盟クラブ数約700を数え、登録選手は約1万1千名(内百歳登録1,320名)に達している。

昨昭和62年には、短水路のマスターズ大会は、全国11の会場で行われたが参加クラブ数約500参加人員は5,200名に達した。この数字は60年度の約2倍となっている。

去年の長水路大会は一昨年の世界選手権を含めて第4回目であったが、初めて東京を離れ、神戸市ポートアイランドスポーツセンターで開かれた。60年に世界ユニバーシアード水泳の行われたプールである。参加者は298クラブ、選手2,220名であった。従来の3回は何れも東京で行われたので参加者の90%は関東地域であったが、神戸での今回では関東は30%となり、関西地域が60%で、中部、中国、九州の参加者も増加した。

凌泳会では関東6、関西13と19名が参加し個人種目約45、リレー4に出泳したが、リレーでは入賞はなく、個人では13名、29種目にメダルを獲得した。入賞は1位金、2位銀、3位銅、4-8位青銅である。(詳細は別掲成績一覧表を参照の事)

尚、62年度の日本マスターズ短水路ベストテンには次の8君がリストされている。

氏名	年代	ラ	ン	ク
三宅 林	21学60+	平100	3位、平50	4位

田淵 五郎	30 B 50 +	背 50	3 位,	背 25	5 位
武政 英幸	39 B 45 +	個 200	4 位,	蝶 50	8 位
宮部 高博	42 L 40 +	自 25	10 位		
山本 隆	57 E 25 +	蝶 100	3 位		
山野 和則	59 A 25 +	平 100	4 位,	自 100	9 位
長崎 真人	59 B 25 +	平 25	5 位,	平 50	10 位
藤本 栄美	59 準 25 +	個 200	1 位,	自 50	5 位

(一部敬称略)

(筆者は日本水泳連盟, 日本マスターズ水泳協会監事)

駆け出し時代の思い出

(昭9学) 宮 本 伯 夫

戦前, 戦中, 戦後を通じて激動期の日本経済社会の変遷を凝視しながら遅く生き続けて来た我々年輩の者には, ひと味違った特別の思い出が沢山あることと思う。この度, 駆け出し時代の思い出と題して何か書けとのことだが, 何しろ半世紀も昔のことであり, それ等のことは平素思い出すことも殆んどないが, この稿の依頼を受け, 今改めて駆け出し時代を静かに追想してみると, 矢張り様々のことがついこの間のことの様に次々と浮んでは又消えて行く。その中で私と水泳との関係が一番印象に強く残っている様だから, 以下記憶を辿りながら, 全川崎水泳部の創設と, 日本一のプール建設の経過を, 更に実業団水泳部として彗星の如く現われ, 忽ちの内に神宮全国大会の府県対抗戦には兵庫県を代表して出場し連続優勝を重ね, 日本水泳界にセンセーションを巻き起したが, 戦争という巨大な歯車に無惨にも噛み砕かれ, あえなくも消え去った全川崎水泳部の始末を, その創設者であり, 又応召するまで幹事長兼小使として全般の指揮をとった私の思い出を書いて責を免れることにしたい。

話の順序として甚だ恐縮であるが, 先づ初めに私の水泳に関することから書くことにする。

旧制神戸商大の水泳部選手として僅かに三商大戦 400, 800 米自由形に 2 着となった位の平凡な部員に過ぎなかった私は, 昭和 9 年卒業と同時に川崎造船所(現川崎重工)本社営業部に入社当時川崎は運動が盛んで, 野球部は八幡製鉄と定期戦をして居り又相撲部も強かった。10年暮商大水泳部とOBの会(凌泳会)の幹事となって御世話をするようになった。爾後自動的に兵庫県体育協会, 日本水上競技聯盟の役員, 神戸インターカレッジ名誉主事, 関西インカレ役員となり, 14年夏応召するまで神戸地方の主要水泳競技会の審判員又は審判長或は出発合図員等を勤めた。

以上が主な公的経歴の様なものである。

さて、11年の初夏神戸実業団水泳聯盟が発足、私もその役員に推され、全川崎関係から多数出場する様依頼された。然し本社は勿論どの関係工場にも水泳部らしいものがない。私は早速本社及び艦船工場の同好の士に呼びかけその世話役となり、神戸西代の市民プールに練習に行き始めた。やがてこのことが各工場及び関連会社の同好者間に大きな反響を呼び、遂に合同して兎も角も全川崎水泳聯盟を結成、その幹事長兼小使となり、有志が多数前記大会に出場したが、練習不足と年齢的な問題もあって戦果は上らなかった。

その後、会社に練習場の様なものがあればと痛感、入社3年目の新米駆け出し社員にも拘らず、私は単独で恐る恐る運動好きの松村専務室に行き、防火用貯水池の名目で簡素な25米プールの建設をお願いした。一笑に付して断られると思いの外、意外にも考慮してみようと好意的な回答を得た。数日後、呼び出しを受け、数人の役員の居並ぶ前で鑄谷社長から「どうせ造るなら50米の日本一のプールを造れ、そして強い水泳部になれ」と申し渡された。夢想だにしなかった吉報に驚くと同時に、社長の太っ腹に畏敬の念を禁じ得なかった。今でもその時の情景が強く脳裡に焼きついている。当時公認の50米プールは私の記憶では僅かに全国で十数ヶ所位で、八幡製鉄には既にあった。

余りにも大飛躍した事態になったことに重大な責任を感じた。学生時代試合で50米プールを泳いだことは度々あるが、さて日本一のプールを造るとなるとどの様な施設にしたらよいか、又強い水泳部になるには？と少なからず当惑と不安を感じた。直ちに学生時代から御世話になっていた関西水泳界の大御所、藤井正太郎先生宅に赴き、事情御説明、種々有益なアドバイスを受け更に上京して日本水聯本部を尋ね施設等の専門家の御教示を仰ぎ且その紹介により、神宮、名古屋清洲、阪急宝塚、阪神西宮の50米プールを視察、設計図面や参考書類を戴き帰社。結論として、プールは水聯公認の50米8コース、5米の高飛込台の併設、プール内面その他白タイル張り、神戸市の水不足を考慮し、当時としては画期的な塩素滅菌装置付き循環式濾過機の設置、急速注排水設備、出来得れば数百人を収容し得る観覧席等々の要望書と参考図面を会社に提出して詳細説明した。幸いその要望は全部承認され、本社及び各工場から近い川崎東山学校（養成工及び新入社員の教育校）に設置されることになった。

次に強い水泳部をつくるには新鋭優秀選手の入社に頼る以外にないと考え、人事部の了解を得て同11年の全国中等学校水上競技大会各種目で決勝に残った優秀選手の入社勧誘を行った結果、12年春には素晴らしい一流選手（自由形では堀、浅野、財間、尾口、飯塚、背泳には佐藤哲、平泳には船越、中村、佐藤日の諸君）が9名ずらりと入社、更に13年、14年にも同様数名づつ入社して来た。私はこれ等選手の身許保証人となり、練習に都合のよい艦船工場に配属してもらい間も

なく合宿練習の指導監督に当たった。

7月には夢にまで見た待望の所謂日本一のプールの竣工式が挙行され、式後プール開き恒例の行事として関西有名古式泳法の諸先生方の秘伝を披露して戴き、次に特別アトラクションとして、前回のオリンピックに出場し世界を制覇した現役選手の所属する早稲田、慶応、日大水泳部を私は予め歴訪し、エキジビションとして出場の承諾を得てあった男女14名の選手達（男子では牧野、小池、児島、吉田、寺田、小柳氏の外1選手、女子では松沢、小島、大沢、鎌倉嬢外3選手）によって各種目の模範競泳及び飛込み競技の妙技が披露され、最後に当時漸く普及し初めた水球の試合を神商大対関学大で行い、プール開きは大盛会裡に終了した。この準備と当日の司会をした私は御蔭で面目を施した。

次に速成の強い水泳部の活躍について。先づ12年の前記兵庫県実業団大会に優勝（後年連続優勝）し、次に西日本最強の実業団チームであった八幡製鉄との対抗戦を申込み初回は当方に招待して勝ち、爾後交互に遠征、16年中止となる迄4回とも全部大勝した。更に兵庫県の選手権及び工場対抗戦にも優勝、9月にはついに神宮大会全国青年団実業団の部で兵庫県を代表し私は監督として出場、200米競泳に1分52秒の大会新記録を出したが惜しくも総合点で2位になった。翌13年の前記神宮全国大会では他府県を圧倒し大差で優勝。川崎水泳部恐るべしと注目を浴びた。尚同年8月には慶応水泳部小池、宮崎選手以下部員の合宿練習場として当社プールの使用を許可し、我が方と親睦を図りつつ合同練習をした。14年にも更に新入優秀選手が加わり、実業団水泳部として無敵を誇る陣容となったが、反面日支事変は益々拡大の一途を辿り、優秀選手が入営又は応召しはじめた。私も8月召集令状を受け、後事を商大水泳部後輩社員に託して中支山奥の第一線に赴いた。その年の暮頃、神宮全国大会に圧倒的に優勝を重ねた新聞記事の切り抜きと選手達からの慰問の手紙が届き、薄暗いローソクの灯の許で感慨深く繰り返し読んだ。

以上で私の駆け出し時代の思い出、水泳との繋がりは終ることになるが、この稿の締めくくりとして私が応召後も依然全盛を極めていた全川崎水泳部の後日談を御参考までに書くことにしたい。

後任の幹事長が数年前鬼籍に入り一切の記録が入手出来ないもので、なつかしい初期の選手数人に電話或は出状して問い合わせた結果、沢山の報告を戴いた。これ等を総合して概要だけを極く簡単に記したい。

全川崎水泳部は引き続き昭和15、16、18年の神宮全国大会（途中名称が国民練成大会等と変わった）に優勝を重ねたが、その間唯一度残念ながら17年には元オリンピック選手の宮崎、葉室両君が入社していたにも拘らず練習不足のため優勝を失し、八幡製鉄の福岡県代表が優勝した。一方大東亞戦争は愈々苛烈となり19年には一切水泳競技は中止となった。選手達も続々と入営応召

戦死者も出た。やがて終戦となったが御承知の通りの社会情勢大混乱の中で未復員者或は退職者も続出、又自慢のプールも進駐軍に接収され、嘗て実業団水泳部として無敵の実力とその陣容、幾多の全国制覇の栄光を誇った全川崎水泳部もあわれ消滅の運命を辿った。(現在の川重水泳部のことは知らない)

私は召集解除後川重に復職したが、神戸を離れ傍系の新設兵器会社、旧川崎航空機、更に川重から分離した川鉄へと転任を重ねたため水泳部とは全く疎遠となり、又水泳に関する公的役職も戦後自然消滅のまま現在に至っている。

(註)本文は宮本氏の御了解を得て「アイアンクラブ」誌より転載致しました。

総 会 懇 親 会

(昭27学) 石 井 義 章

総会終了後、恒例の懇親会を「エクラン」に於て開催しました。今回エクランを会場に選んだのは次の二つの理由からです。

その一つは広瀬ママがこの地に店を開いてから50年、そしてママさんは傘寿のお年になられるとか。昨年11月にはその祝賀会が大学学生会館で盛大に開催されました。吾々水泳部は殊にお世話になったし、OBの中にも懐しい思い出をお持ちの方も多かろうと考へたこと。

そして今一つは今年が古林喜楽先生(元神戸大学学長、前慶泳会会長)が亡くなられてから10年目に当たるため先生の追悼会としたいと考へ、先生を偲ぶにはエクランが最適の会場と思ったからです。先生はエクランをこよなく愛され、自ら第二学長室と称して折にふれ学生を引つれて円卓を囲み、ジョッキを傾けられました。広瀬ママもそんな先生を忘れず今も店内には先生の大きなパネル写真が何枚か掲げられています。

さて、総会が終って三々五々山を下り6時頃エクランに集合。二階の広間には既に座卓が並びスキヤキの用意が来ています。開宴に先だち、古林先生を追悼すべく一階のホールよりパネル1枚借りて来て鴨居に掛け、しばし黙祷を捧げて先生を偲びました。

畳も柱も古びてはいるものの、それだけに昔の雰囲気そのままに残りまるで数十年前にタイムスリップした様な気分。すっかり若返って牛鍋をつつきました。その内広瀬ママも上って来て山口副会長と懐しげに話し込んでおられます。山口副会長といえどこんなエピソードがありました。今回の会場予約に行った折の事です。

「水泳部のOB会ならメンバーさんも来られるのですか」

「メンバーと云うOBは居ませんがね」

「東京のマンベ-さんですよ。戦死された山口八郎さんの兄さんの……………」

「それなら宗樹さんです、マンベ-なんかじゃないですよ」

お互に狐につままれた様な気分で別れました。因に山口八郎先輩は昭和17年度の主将で今も使っている水泳部のシンボルマーク、カッパの顔をデザインされた方ですが、戦雲急を告げるに及んで海軍予備学生を志願、昭和20年5月、棧上に於て壮烈な戦死を遂げられました。

さて、コンパの席上この事を思い出し、お尋ねしました所、やっとこの謎がとけました。「マンベ-は成城高校時代からの渾名でね、当時名字の上の字に“ン兵衛”をつけて渾名にするのがはやったんだ。私は山口だから“山ン兵衛”だ。それがいつの間にか最初のヤが消えてマンベ-になってしまい、大学に入ってからもうとうとうこれで通してしまった。エクランのママが本名だと思ったのも無理はないよ」と大笑いになりました。

岡田幹事長の気くばりで現役幹部五人も同席、平素あまり言葉を交す事のない先輩とも一つ鍋をつつき、杯を交し、時間のたつのも忘れて楽しい一時を過しました。

年を追って泳泳会員の数は殖え、年代巾も拡がって行きますが、同じ水を飲んだ仲間として、更に結束を固め、懇親を深めていかん事を祈りつつ報告と致します。

懇親会出席者

小山 会長(7)， 吉野副会長(15)， 山口副会長(16)， 岡本 忠男(17)，
三宅 林(21)， 石井 義章(27)， 佐藤 一夫(30)， 榊原 修造(30)，
松田 司朗(32)， 山口 仁郎(32)， 岡見 晴児(33)， 北村 敏(34)，
丸山 晃也(40)， 井上与志男(47)， 平石 康(53)， 上田 剛弘(56)，
田中 俊哉(58)， 金 一波(59)， 山野 和則(59)， 以上 OB 19名
甲野 賢(主将)， 有利 英明(副将)， 後呂 忠詳(副将)， 近藤 直明(主務)
加地 恵(女子部主将)， 以上 現役 5名

追 悼

故古林喜楽先生御令室光子様、昭和62年10月28日お亡くなりました。ここに謹んで御報告致しますと共に、御冥福をお祈り申し上げます。

〔支部だより〕

東京凌泳会夏季例会の報告

(昭42L) 宮部 高博

毎年新入会員の歓迎会を兼ねて夏季のミーティングを行っているのですが、今年も7月3日下記の通り開催致しました。今年は新入会員が無く残念でしたが出席者は19人と多く、マスターズ活動等常日頃の地道な活動が凌泳会東京支部の集まり等に少しづつ効果を現しているようです。

出席者下記の通り、楽しい一時でした。

三井栄三郎(大14)、小山賢之助(昭7)、草野 嘉一(昭7)、宮本 伯夫(昭9)、
太田 正元(昭13)、平井 洋(昭16)、関山 道雄(昭28)、田淵 五郎(昭30)、
上村 久治(昭35)、山田 貴彦(昭37)、武政 英幸(昭39)、鈴木 正弥(昭39)、
前田 和秀(昭40)、岩切 博(昭46)、得丸 哲士(昭46)、佐敷 定雄(昭49)、
呉竹 正人(昭59)、宮部 高博(昭42)、阿部 洋三(昭42)、 以上

関東支部臨時幹事会

(昭42L) 宮部 高博

昭和62年8月19日田淵氏の発案で臨時に東京凌泳会の有志、幹事が集まり話し合いを行いましたので概要ご報告致します。

場 所 凌霜会館

出席者 山口 宗樹(昭16)、田淵 五郎(昭30)、宮部 高博(昭42)、
阿部 洋三(昭42)、佐敷 定雄(昭49)、 以上五名

1. 日本学生選手権出場に対する資金援助の件

凌泳会としては具体的な行動を起こさず、現役が各OBに趣意書を配り、各会員が独自の判断で諾否を決める。会計処理についても凌泳会の経理とは別勘定とし、特別会計で処理すると言う石井幹事長の主旨に沿い東京凌泳会としても特別な行動はしないことにした。ただ現役も資金的に苦しかろうと想像し各々個人ベースで協力することとした。

2. ジャパンマスターズ'87の件

山口関東支部長に今回の神戸大会の関東勢の出場予定者の氏名並びに神戸側(主として石井先輩)が準備されている9月12日夜のコンパ等に付いて報告した。又席上佐敷氏からマスターズメンバーの拡張と言うことで7名の東京在住者に申込書を発送した旨報告があった。

3. 旧三商大戦の件

当日の席上旧三商大戦についての話題が多かった。敗けたとは言え水球での健闘は立派であった。やはり関東と関西のレベルの違いが延長戦でのゴール前のプレーに現れて居る様に感じられた。もう一步の厳しき、シビアな面が必要と思われる。又特に試合の企画、進行面で各先輩から発言があった。当番校（一橋大）の部員が少なく同情する余地は十分あるが、メモ用紙程度のプログラムが用意されているだけで、試合の進行状況や今泳いでいるのが何校の誰であるかも全く分からないまま部内の記録会程度のレースが行われて非常に残念であった。又、神大OB、OGが多数応援に来ていたが老若相互の交歓が無く、その点各大学で来援者名簿を作るとか、色分けした名札を用意するとかもう一工夫欲しい所である。神戸が当番の時はワープロで打ったプログラムと来援者名簿くらいは用意し、現役、OB、OGが楽しく分かりやすい試合進行の準備を希望する意見が多かった。

以上

凌泳会阪神地区忘年会開催の記

（昭30T） 堂 本 直 正

（昭31B） 富 岡 道 雄

善は急げ。62年12月2日にはやばやとやりました。春は六甲台総会後神戸で懇親会を。暮れには大阪で忘年会を催す事定着させようと決めてから早や3年、昨年は流れたので今回が第2回となります。

大阪凌霜クラブに集いましたるは19名。いつもの如く昭和23年卒の大先輩から昨年卒の若人迄各層を網羅し紅二点の出席もあり全員の1分スピーチを混え楽しい懇談に時の過ぎるのを忘れつついついオーバータイムにてクラブ側に迷惑を掛けた次第でした。最後に「商神」の大合唱をして、来年の再会を約してお開きとしました。

今回お世話させていただいて感じましたる事を一筆申しそえます。京阪神在住者は150名の多数になりますが、年令層、ずいぶん巾広く、その為出席率も今一つと云った感です。

そこで卒業年度順に約10人程の人を拾い出し その方の自宅に夜間電話を掛け出席の要請と凌泳会員内の特に親しい友人への呼びかけをお願いしてみました。又若い層の好み（会場、料理、何か特に演出してみる事、等々。）を採り入れないと盛会望めないかとも思います。来年度も私達二人でお世話させていただく積りです。その節皆様良き知恵借して下さい。

出席者

山越 重義（昭13）、岡庄 一郎（昭23）、石井 義章（昭27）、榊原 修造（昭30）、

佐藤 一夫(昭30), 堂本 直正(昭30), 橋本 力(昭30), 富岡 道雄(昭31),
松田 司郎(昭32), 野田 浩志(昭44), 井上与志男(昭47), 上田 剛弘(昭56),
金 一波(昭59), 杉野 誓(昭58), 田中 俊哉(昭58), 坂田 純孝(昭60),
川原田 貢(昭61), 坂井 美奈(昭58), 北村 和子(坂井美奈さんの友人) 以上

凌泳会東京支部忘年会報告

(昭42T) 阿 部 洋 三

東京支部の忘年会は、ここ数年いつも利用している東京凌霜クラブにおいて、12月15日(火)に行なわれました。いつもお元気な小山会長をはじめとして、16名のかたの出席がありました。

忘年会恒例の「今年の反省、来年の抱負」では、水泳にまつわる楽しいお話が続出し、あらためて先輩諸氏の水泳に対する愛情を感じました。今年(S.63)の世界マスターズ選手権(オーストラリアで開催)に小山会長が出場される予定であると話され、『我々若い(?)者も負けずにマスターズ大会等に挑戦しようではないか』との決意をあらたにして散会しました。

出席者

小山賢之助(昭7), 草野 嘉一(昭7), 山口 宗樹(昭16), 平井 洋(昭16),
田淵 五郎(昭30), 細田 忠雄(昭33), 林 荘八郎(昭38), 武政 英幸(昭39),
鈴木 正弥(昭39), 山口 幸郎(昭41), 中畑 勝明(昭41), 日野 康(昭41),
宮部 高博(昭42), 阿部 洋三(昭42), 岩切 博(昭46), 呉竹 正人(昭59),

会員からのお便り

凌泳総会案内状返信より

○犬童 一男(特)

研究会に出席のため欠席いたします。

○木村 芳雄(大15 高20)

凌泳会では老骨の部に属しますが、まだ元気にゴルフをやっています。凌泳部員の御健闘を祈ります。

○植木 実就(昭6 高25)

御案内有難うございました。小生、昨年5月末健康不勝6月退院後、自宅で療養中のため残念ながら欠席致します。御盛会と皆様の御健勝を御祈り致します。

○草野 嘉一(昭7 学1)

お蔭様で元気です。最近泳ぐ機会に恵まれません。ワインと散歩と内外の旅行を楽しんでいます。(1987.5.5記)

○板野亀八郎(昭9 学3)

六甲台の総合教室で卒業式をやってから53年経ち、その後一度も学校を訪れた記憶がありません。一度訪ねたいと思いますが17年前と2年前、循環器と消化器の病気をして現在は二病と仲良く付合っている状態で我流の気ままな生活をしています。総会の順調な進展と懇親会の盛会を祈念しています。

○宮本 伯夫(昭9 学3)

昨年一寸体調を崩して入院していましたが、大体回復しました。お蔭で多年の懸案の禁煙が出来ました。ゴルフも又ボチボチ初めました。下手な囲碁を習っていますが上達なし。

○池谷 俊一(昭10 学4)

高血圧の精密検査の為目下兵庫医大に入院中の為残念ながら欠席致します。古林先生やエクランとは縁も深く是非出席致したいが残念です。エクランのママさんによろしく。

○古賀 克己(昭11 学5)

元気で毎日会社勤務を続けています。サラリーマン生活52年目です(兵隊とも)。凌泳会総会後の懇親会は特に本年はエクランでということもあるし、出席したいのですが日時が前か

ら予定の旅行（5月13日～20日北京、西安他）中となりますので出席できないのが残念です。幹事さんお世話様です。

○山口 宗樹（昭16 学10）

水泳シーズンに入り皆様の元気な顔が眼に浮びます。我々河童は水が恋しいですね。それも青空の下が一番かと思います。年令に関係なく健康を大切にしたいものです。何やら暗雲が頭上に来ている様ですが払いのける途もあるのではないのでしょうか。小生元気です。

○山川 初男（昭16 学8）

折角の凌泳会総会のご案内あれど当日は小生、旧名古屋高校卒業五十三周年祭が下呂にて開催され、それに出席の先約があり残念ながら欠席いたします。

○石井 義章（昭27 学22）

古林先生が逝かれて早や10年、あの雪の日のお葬式が昨日の事の様に思い出されます。先生を偲ぶコンパで多くの方々と出会える事を楽しみにしております。マスターズ水泳の登録者は20名になりました。もっと仲間をふやしたいと思います。小生まで御連絡下さい。

○関山 道雄（昭28 E1）

それなりに元気で“お勤め”に励んでいます。水も遠くなりましたが少しは泳いでみたいという気はまだ残っています。諸兄によろしく。

○堂本 直正（昭30 T3）

勝手ながら先に決めた行事があり欠席させていただきます。当日の盛会、今年の部の成績好調を祈ります。

尚今年の忘年会 or 新年会、大阪梅田近くでの設営よろしければ小生お世話させていただきます。お申し付下さい。

○松田 司郎（昭32 J5）

3月マスターズ1500m 27分57秒

5月5日マスターズ200mフリー3分6秒4でした。

○柴川 泰介（昭34 E7）

先輩諸氏並びに現役諸君益々御活躍のことと存じます。相変わらず雑用に追われ体の休まる間もありません。悪いことに四月旅行中に腎石が動き出し途中で止まってしまい五月七日に切開してしばらくは体が思い切って動かさせません。来月五十一才ともなれば色々病が出てきます。

○高岡 保宏（昭37 P10）

5/17 兵水連の行事で先約のため欠席します。

皆様によろしくお伝え下さい。

○米田 啓祐(昭37 P10)

いつも御案内をいただきありがとうございます。なつかしい企画をたていただき、参加したく思いますが、雑用に追われ日がとれなく申しわけありませんが欠席します。元気でやります。

○萩原 武(昭37 T10)

拜啓 御丁寧な御案内をいただきながらいつも欠席ばかりで申訳ありません。小山会長はじめ幹事、現役諸君の御骨折りで凌泳会活動が年々立派になり心から感謝いたしております。北九州は現在厳しい不況にさらされていますし岡本先輩も今、選挙で惨敗をされいとこなしですが心機一転出直しの気持ちで頑張らなくちゃ、という心境です。こちらにおいでの際はぜひ声を掛けて下さい。 敬具

○柳本 正雄(昭37 B10)

元気で頑張っています。御盛会であります様に祈念いたしております。

○窪田 信雄(昭38 J11)

いつも欠席ばかりで申し訳ありません。御盛会をお祈り申し上げます。

○阿部 洋三(昭42 T15)

昨年は長水路プールで100 Bu: 1' - 17", 200 Bu: 3' 10"でした。40才すぎから急に衰えたような気がします。今年はなんとかして神戸で開かれる(9月)長水路マスターズ大会な出席したいと思います。

○由佐 禎男(昭42 T15)

毎回欠席で申し分けありません。皆様によろしくお伝え下さい。

○玉置 明(昭45 E18)

当地に来て早や7年目に入っております。もう、そろそろかなと思っておりますが、酒井先輩とは一緒に仕事をし、多に遊んでいます。現役部員の方々は今年も是非頑張ってください。

○得丸 哲士(昭46 A19)

S62年度の目標の年間150,000m, 50回以上を達成すべく体力づくりに励んでいます。スピードはありませんがノンストップで3,000mを泳ぐ気力と体力は維持しています。

○以西 吉一(昭48 T18)

故郷に帰り旧友と交わりつつ再度商売を始めました。しかし田舎のこととのんびりしており商売そっちのけで温水プールに通ったりしております。現役のみなさん今年も頑張ってください。

○平石 康(昭53 P26)

当日競技役員講習会の為、神戸へ行きますが8:30~4:00までですので総会の方へは行けません。懇親会の方は何とか参加できそうです。勤務先が変わりました。兵庫県神崎郡神崎町越知242 越知谷第一小学校 「グリーンエコー笠形」の近くです。毎週土曜日は自転車で通っています。(片道26.5km)今年からミニトライアスロン大会に出場予定です。自然の中で体を鍛えています。

○後藤 信人(昭54 B26)

相変わらず休日には泳いでいます。5月24日には関東地区の短水路マスターズに百Br 2百Br で出場します。2百Br のRaceは10年ぶりぐらいでしょうか。目標は3-05-0。今年はI.M. が無いのが残念。2百I.M.で生涯Bestをねらっていたのですが、せっかくのながてBa特訓もフィに。という具合で、まだまだ現役気分で頑張っています。同期の酒井君が中国に行っている間にセッセと練習を積んでマスターズDクラスぐらいになったら凌泳会の新たな星となってデビューをもくろんでいるGottohです。娘2人とも松戸スポーツクウェアのマスコットガールとして人気者です。

○上田 剛弘(昭56 B29)

今年は酒井先輩より監督の役を引継ぎ少しでも現役に近づこうと秘かに練習をしておりますがなかなかどうして6年間のブランクは大きく、ウエストを数センチ細くするぐらいが関の山です。

○芝 暢彦(昭56 E29)

エクランの名を聞いて大変なつかしく思いました。残念ながら欠席させていただきますが皆様によくお伝え下さい。

○白子 靖則(昭57 B30)

最近は週に一回程度泳いでいます(1000mぐらい)。おかげで体調はすこぶる良好です。現役の方々の今シーズンのご健闘をお祈り致します。

富岡 洋三(昭57 B30)

エクランで懇親会ということでは是非出席したいのですが残念です。思いおせば私が大学にはいる前年に古林先生がおなくなりになったと記憶しています。時のたつのは早いもの。

○谷水 利行(昭59 J32)

今年の懇親会はエクランで催されるとのこと。想えば入部のその日にビールを無理矢理、金さんから飲まされたのもエクランでした。

○吉岡 宏之(昭59 J32)

当日会社慰安旅行のため欠席致します。今年度の現役諸君の活躍を楽しみにしております。

(しょうもない成績やったら行かへんでー) P.S.親愛なるバタ面の皆さんの本年度の健闘を祈ります。

○呉竹 正人(昭59 J32)

スキーか、キャンセルして仕事かの週末の日々も漸く終わりました。どうぞ手ぶらで泊まりに来て下さい。

太田久美子(昭61 L34)

G.W.には9か月ぶりに懐しの神戸へ帰り、六甲周辺(神大含め)の変貌ぶりにびっくりしました。また、梅田で思いがけず盛大な会を催していただき、ありがとうございました。今年は卒業生から関東組1人も出ずに残念です。相変わらず「学生」している、と皆から言われましたが、今年は身を落ち着かせるよう頑張りたいです。

中川 善雄(昭62 T35)

5/7 現在、近鉄阿部野橋駅で駅務実習をしております。5/17 は橿原神宮前駅で実習の予定ですので欠席させていただきます。機会があれば観光のついでにでも、駅員の私の姿を見に来て下さい。5月中は駅におります。そろそろ葛城高原のつつじが見ごろになります。是非どうぞ。出席の皆様宜しくお伝え下さい。

三好 岳(昭62 J35)

岐阜へ来てもう半年以上、やっと生活も軌道にのってきたところですよ。見知らぬ土地での初めての1人暮らしですが、なかなか楽しくやっています。そんなに遠い所でもないのでも暇を見つけてまた遊びに行こうと思っています。現役の皆さん、いよいよ本格的にシーズン・インですね。精いっぱいがんばって下さい。4年間というのは短いもんですぞ…。それでは…。

月見の宴案内状返信より

○田口 寛治(特)

神戸大学在職中はお役に立てなかったことを申し訳なく思っております。

今春、園田学園に勤務することになりました。

○岸 楯夫

沖縄国体出張のため欠席します。月見の宴のご盛会と水泳部の発展を祈念致します。

○木村 芳雄(大15 高20)

ひたすらゴルフ三昧の今日此頃です。

○北條 貞夫(昭6 高25)

若い皆様方の御活躍を祈っております。

○三吉 吉郎(昭6 高25)

体調良好。マスターズ陸上競技全国大会75~79キクラス砲丸投に参加申込んで居ります。

皆様お互いに頑張りましょう。

○植木 實就(昭6 高25)

毎々御案内有難うございます。小生昨年春以来健康を害し静養中のため欠席致します。御盛会をお祈り致します。

○草野 嘉一(昭7 学1)

お蔭様で元気です。6月にはカナダの旅行を楽しみましたが、10月はニュージーランドに行く予定です。

○山田 常雄(昭7 学1)

今年は女子部の活躍が目覚しかったですね。吾々時代の記録が女子選手に次々破られていくのは痛快です。

月見の宴残念ながら欠席します。

○宮本 伯夫(昭9 学3)

少し涼しくなったのでゴルフが又出来る様になって楽しいです。80才近くになっても元気でいられるのは若い時、水泳をやったお蔭でしょうか。

○古賀 克己(昭11 学5)

先日はポーアイブールで日本マスターズの競泳を見まして羨ましい元気さと思いました。

本年5月には中国旅行をしました。

○小池 三郎(昭11 学5)

かがやかしい戦績おめでとうございました。大いに青春を楽しみ、そして生かして下さい。

では盛会を祈ります。

○太田 正元(昭13 学7)

お蔭様で健康です。週2回の水泳が効いている様です。神戸の水泳部が私共がいた時より随分強くなって居るのが心強い限りです。なかなか試合を見にいけないのが残念。

○大内 義仁(昭14 学8)

猛暑でしたのでセッセとプールへ通いました。お蔭で健在です。

○満野 公介(昭14 学8)

都合により月見の宴は欠席致します。

今年は大変好成績にて同慶至極に存じます。

○吉野 栄(昭15 学9)

年令相応に注意し乍ら生きています。その内又会合をやって皆様にお集り頂く所存。

○森 芳夫(昭16 学10)

62年6月20日に東京から故郷の静岡へ帰って来ました。今後ともよろしく。

○山口 宗樹(昭16 学10)

本年も現役の皆様ご活躍お目出とう。

○平井 洋(昭16 学11)

十五夜の水底歩くものありぬ。

○尾上 信三(昭17 学12)

近いのにご無沙汰致して居ります。体調が不安定のため行動が制限されており来年の御健闘を祈ります。

○岡本 忠男(昭17 学12)

出席したかったのですが、会合があるため欠席します。返事が遅れて申し訳ありません。次回の会合には出席したいと思います。六甲の宅 灘区大土平2丁目1-9 を家だけ確認して下さい。一度幹事の方に来てもらうつもりです。

○木村京一郎(昭17 学12)

無事消光しています。遠隔地のためなかなか応援にも行けず会合にも御無沙汰ばかりで申し訳なく思っております。皆様によろしく。

○荻野 茂希(昭18 学13)

今年は輝しい成果を挙げられ、非常に喜んでおります。現在、時間はたっぷりありますので、機会があれば応援に行きたいと思っております。

9月20日は時間的に他の会合と一寸重なりますので失礼します。

○富中 暁(昭18 学13)

相変わらず、十年一日の如くヘルス・クラブのサウナー水風呂一水泳に励んでいますが、正確には13年3ヶ月になりました。健康に感謝し乍ら、皆様の御健康と凌泳会益々の発展を切に祈り上げます。

○山内 利男(昭20 学15)

昨夏までは金属部門の常務、鉄鋼本部長と兼職で忙殺されたが、役員定年で最近は現役としてはインド総支配人のみで、曾って25年間駐在したインドに、ここ1年間は4半期毎に3週間程度の出張を繰り返しています。

○三宅 林(昭21 学15)

社内バス旅行のため失礼します。今年はマスターズに初めて出場し、自分ながら意外な好成績でした。一昨年、小山先輩や石井氏に奨められたおかげと思い感謝しています。御出席の皆さんによろしく。

○佐脇 鷹平(昭25 学20)

毎年、職場が変わっていて申し訳ありません。いつまでも忙しい毎日です。残念乍ら欠席です。

○石井 義章(昭27 学22)

22年間やって来たバーディクラブを閉鎖しました。昭和40年大正海上を脱サラ、ゴルフ練習場を始めてより色んな事がありました。幼稚園にも上ってなかった末子も早、大学院生、感慨無量のものがあります。でもまだ引退の年でもないで、しばらく充電しながら第3の人生を考えたいと思っています。

○中井 三郎(昭27 学22)

毎日、元気で過ごしております。来年は還暦を迎えますので週二回の水泳と、週一回のゴルフを自分に義務付け、健康で毎日を過ごしたいと思っています。現役諸君の健闘を祈ると共に皆様によろしくお伝え下さい。

○田淵 五郎(昭30 B3)

小生も今年の短水路全日本マスターズ(5月)と、長水路全日本マスターズ(9月、神戸)の日程を済ませてはとした所です。又、来年の目標を立てるのも良いものです。現役の諸君も、それから凌泳会マスターズ会員も頑張りましょう。

○松田 司朗(昭32 J5)

ゼミ教授の七回忌の会回のため欠席です。先日、神戸ポートピアプールマスターズ200mフリー8位でした。尚200歳以上の部のリレー200mでは7位でした。出場の皆様ご苦労様でした。出席の皆様によろしく。

○岡見 晴児(昭33 J6)

7月より現住所に移りました。20日は海外出張の予定あり、残念乍ら欠席致します。

○高橋 靖周(昭33 E6)

御丁寧なご案内をいただき厚くお礼申し上げます。残念ながら今年も出席できませんが、悪しからずご了承下さい。今年は海で一度泳いだ切りで夏が終わりましたが元気でやっておりますのでご放念下さい。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。ご盛會を心からお祈り申し上げます。

○北村 敏(昭34 E7)

裏面CP事業部のCPはConsumer Products の略であります。小生自身は相変わらずオ

ートバト売りに走り廻っています。皆様お集りの9月20日はバンコックに行っている筈です。残念ながら今年も月見の宴には参加できません。皆さんの楽しんでおられる様子を想像しています。

○柳本 正雄(昭37 B10)

欠席ばかりで申し訳ございません。月見の宴御盛会与と凌泳会の増々の御発展をお祈りいたします。

○井上 隆史(昭37 B10)

先日のマスターズでは大変お世話になり有難うございました。1年振りのレースを楽しませて貰いました。KUCのビールもおいしく旧友にも会え命の洗濯を致しました。今後ともよろしくお願い致します。

○萩原 武(昭37 T10)

いつも御無沙汰ばかりですみません。おかげ様で家族とも元気に過しています。鉄はまさにひとつの時代を終り新しい世界に抜け出す為の自己改造を断行中で、その渦中に置かれた私達は冷厳なる効用評価にさらされています。一方では日々の業務に追われ、一方では迫り来る切り捨てるの恐怖におびえる実に切ない毎日を通しております。皆様によろしく。

○鈴木 正弥(昭39 E12)

昨年末N.Y. から帰国して子供達(高2, 中2, 小4)も予備校通いを自主的にやって日本の学力にやっと追いついたといったところです。N.Y. 滞在中に自宅を売り払ったので持家もつくらねばならず旭へーベルの二世帯住宅を建築中で11月には横浜市瀬谷区瀬谷町5328番に引越です。さて恒例の月見の宴が華々しい戦績の下で開催されること、よろこばしい限りです。楽しい宴であることを祈っています。御出席の先輩諸氏によろしく。

○丸山 昱也(昭40 T13)

9/20は末子の運動会の為、涙をのんで欠席せんとあきません。御出席のOB(OG)の方々、御健勝に。もっとも9/12のマスターズのあとのミーティングに出席する予定ですので月見の宴の代りに致します。

○手嶋 忠之(昭41 S14)

本年も立派な戦績御苦勞様でした。月見の宴、欠席させていただきます。この12, 13日神戸のポートアイランドで開かれました日本マスターズ87に参加しまして22年ぶりに先輩、後輩の皆さんにお会い出来ました。懐かしく楽しい2日間でした。

○中畑 勝明(昭41 B14)

今年も素晴らしい成績を収められ、おめでとうございます。不惑の年も早や数年経ち体力、

知力の衰えを感じるようになりました。休日には水泳、ジョギング等体力の Power up に努めております。

○宮部 高博(昭42 L15)

マスターズ神戸大会は楽しかった。石井先輩はじめ各先輩、後輩の方々とお会い出来たし、マスターズ大会も立派な運営でした。卒業以来の丸山 Jr 氏や手嶋先輩等もお会い出来、学生時代の修学旅行のような楽しい2日間でした。

○久保佑四郎(昭42 E15)

水とのつき合いが遠くなっています。今年は夏、小浜で三日間泳いだけでした。最近ではジョギング派になってしまいました。血糖値を下げる為に始めましたが効果があります。二月には篠山で三回目のフルマラソンを走りました。四時間近くかかりましたが楽しかったです。美人ランナーの後に付いて走ることにしています。

○阿部 洋三(昭42 T15)

最後の(?)建設ブームとかで毎日業務に追われています。(もっとも金につながるのは何年先になるのか分かりませんが。)おかげで水泳の方は少し減少気味で記録の方も落ち気味です。現在は暁木会(土木のOB会)東京支部の事務局を担当していますので、その内神戸の方にも行くことがあると思われます。その時はぜひプールにも寄ってみようと思っています。

○玉置 明(昭45 E18)

間もなく在札7年が過ぎ様としています。相変わらず公私共に忙しくやっております。健康維持の為一度位は泳ぎたいと思いますが仲々難しい毎日です。現役の皆様、これからも頑張ってください。

○井上 史朗(昭45 B18)

東京の秋は早いものです。夕方からは涼しい風が吹いてきます。秋になりウィスキーのおいしい季節となってきました。今から今年いっぱいそがしい日が続くことでしょう。

○井上与志男(昭47 J18)

学生時代の不勉強のせいで40才を過ぎた今になって簿記の専門学校(夜間)へ通っています。固くなった脳細胞にとってはやや苦痛ではありますが、同時に学生に戻った感じがして試験でよい点をとれた時は心の中でそっとははえんでいます。月見の宴楽しみにしています。

○以西 吉一(昭48 T18)

今年も良い成績を納め、月見の宴を迎えられること、おめでとう。私も健康のため子供に連れられて、週1回程度プールへ通い流れております。

○藤井 元洋(昭48 P21)

毎年のことですが夢のような夏休みが終わり、夏休みの宿題の整理や授業、学期始めの話合い、体育大会の計画や練習等で目の回る毎日です。体力が続くかどうか心配です。今から冬休みまで、後何日か数えては気持ちを引きしめています。

○佐敷 定雄(昭49 A22)

都合つかず出席できないのが残念です。皆様によろしくお伝え下さい。

○家本 博一(昭50 E22)

1988年3月までワルシャワ大学へ参っておりますゆえ、失礼させていただきます。

○瓜生誠二郎(昭50 E23)

すばらしい戦績おめでとうございます。もうじき(10月)次女誕生予定です。

○大曲 芳郎(昭50 J23)

出張中につき欠席致します。

○丸末 一之(昭52 E25)

10年振りに関西に戻って来ました。ごぶさたしておりましたが、これからはできるだけ、顔を出すよう心がけます。

○平石 康(昭52 P26)

20日は運動会当日で行けません。この夏の疲れがおしりにたまり、ちで苦しんでいます。マスターズの全日本大会も選手として申し込んでいたものの出場できず残念でした。競技役員の方もごかんべん願いました。でもこの4月から勤務校(へき地校)が変わり、張り切っています。往復55kmを自転車で通っています。トライアスロンも2回挑戦しました。(6月、8月ショートですが)神鍋ハーフマラソンは体にこたえました。次は水泳(マスターズ)という予定がこわれました。30才をすぎると、もう少し体をいたわらねば、と感じるこの頃です。

○後藤 信人(昭54 B26)

男女揃って全日本インカレ団体出場おめでとうございます。人間には必ず限界があります。しかし、その限界に到達できる人は皆無でしょう。男子は来年、競泳でも団体出場を目指し、頑張ってください。小生32才になってますます意気さかん。100平では現役Bestより1秒2遅い記録で泳いで全国ランキング3位でした。今、スクールのコーチに背泳を特訓してもらっており、泳ぐ度にベスト更新しています。40才代になったらI.M.でメダルをとることを目標に女房、娘2人と共に水泳を続けていくつもりです。

月見の宴には今年も出席できませんが盛会をお祈り申し上げます。

○平野 輝雄(昭53 P26)

後輩諸君の今年の活やく、とてもうれしく思います。さて、私の方は今年もそう泳ぐ機会も

なく、ますます体力が衰えていく感じがします。月見の宴の案内を頂いたのですが、私事で申し分けありませんが出席できません。みなさんによろしくお伝え下さい。現役諸君、これからのトレーニングも忘れず来年さらにより成績がとれるよう、がんばって下さい。

○村田 邦夫(昭53 J26)

内地留学中です。

○星合 正子(旧姓栗野)(昭53 S26)

今年の夏は2年ぶりに泳ぎました。泳いでいるときは雑事を忘れられて日頃のストレスも解消できます。

○大林 良和(昭55 M13)

いつも参加できず申しわけありません。毎年この時期は学会の前にあたり準備の遅い私はいつもあせっているのです。来年こそ参加したいと思っております。

○土井 紀子(旧姓寺尾)(昭57 P30)

現役部員の皆様の素晴らしいご活躍、おめでとうございます。来年もこの調子で頑張ってください。私共は仕事と子育てに追われる毎日、泳ぐ暇がありません。ラッコのようにブカブカゆっくり浮いていたいと思っている今日この頃です。

○藤田 弥門(昭57 準)

会社の水泳部のメンバーも充実し(呉竹はいまいちだけど)毎年全日本実業団でOBの面々と出会うのが楽しみの一つになりました。又、今年から基礎体力作りにと会社のラグビー愛好会に入り筋肉痛と打撲でケガの絶えない毎日を送っています。現役の皆さん今年もごくろうさんでした。

○山本 隆(昭57 E129)

本年は兵庫県実業団水泳大会で神戸市役所男子が5年ぶりの団体優勝、個人としても200メートル個人メドレーで優勝しました。思えば水泳の試合で1位になるのは学生の時以来である。タイムは平凡以下であったが、やはり気持ちの良いものだ。

○富岡 洋三(昭57 B30)

この夏は心機一転、週二回の泳ぎこみをした結果3年ぶりの記録が出ました。来年は凌泳会としてマスターズ大会に参加しようと会えています。

○後藤 芳光(昭57 E30)

'87.8に本社に転勤になり国内の配船を担当しています。今夏('87夏)は水不足と冷夏のためプールに出向く暇がなかった為、若干太りすぎみです。

○白子 靖則(昭57 B30)

今シーズンもご苦労様でした。私の方は3月ごろから月に3~4回泳いでおります。

○国本 温代(昭58 P31)

2001Mを2'21"8で泳ぐ選手がいます。今年のインターハイには出場できなかったけれど来年のインターハイ(ポートアイランドプール)には是非出場したいと日夜練習にはげんでいます。(大阪高校では6位に入賞しました。)

○長谷川泰造(昭59 T31)

素晴らしい戦績おめでとうございます。私は今年2回海で泳いだだけで、もっぱらテニスにこっています。

○久保田勝己(昭59 E32)

関西インカレ女子1部5位は素晴らしい成績です。おめでとうございます。但し全国国公立の成績が少々残念です。来年の健闘を期待しています。

私、現在柄にもなく外為のマネージャーをしております。

○山野 和則(昭59 A32)

マスターズ神戸大会では100m平泳ぎ優勝、100m自由形2位、それぞれが全国ランキングで4位、9位でした。ジャパンマスターズでは100m平泳ぎ3位、200m平泳ぎ優勝、今年はとてもいい年でした。来年もまだまだやれます。

○吉岡 宏之(昭59 J32)

11月におかげ様で世帯主となります。水泳の方は太りすぎてもうだめです。現役のみなさん無理をして現役で頑張ってもらっしやるOBの皆さんの健闘を祈っております。

○呉竹 正人(昭59 J32)

この夏5000も泳いだかどうか……。私の情熱はまたもや冬山に向かいMt. Hutt で滑ってきました。

○坂田 純孝・芳子(昭60 J32 P別)

長男 孝大 9カ月
たかひろ

○土井 健治(昭60 E33)

入社三年目に最大の山場を迎えて全力でがんばっております。皆さんの素晴らしい活躍、紙面でしか拝見しておらず反省しております。楽しみにしていた月見の宴もスケジュールが重なり参加できません。

○楠戸 祐子(昭60 準)

田舎へ帰って3度めの夏が終わりました。夏が終わるのは、やっぱりたまらなく寂しいです。部員の皆様、今年のシーズンのしめとして月見の宴で狂乱して下さい。

○川島えみこ(昭60 P33)

今年の夏休みはクーラーも何もない学校で毎日仕事をさせられました。お盆の5日間だけが休みで、それも試合のつきそいで全部つぶされました。はっきりいってむなしい夏でした。しかしそのかわり冬は遊ぶぞっ。

○太田久美子(昭61 L34)

インカレを1日だけ観に行きましたが若い方たちの名前と顔を一致させることができずに大変失礼いたしました。知らない人が増えるとクラブから遠のいていく自分を痛感しますが、今年は三商大とインカレの2度の東京遠征で顔見せができ、いく分新人の方々と接することができよかったです。皆さんも凌泳会史上に残る名・迷マネージャーと対面できて、
Lucky だったでしょ?!

○三好 岳(昭62 J35)

4回生のみなさん、ご苦労さんでした。これからは時間が非常に大切だと思うので、いろんなことやってください。私は今は仕事も落ちついてけっこう普通の生活をしています。今度は非いちど遊びに来てください。誰でも歓迎です。P.S.就職決まった人! おめでとう……

マスターズコーナー

マスターズへのお誘い

事務局 石井義章

昭和60年に凌泳会が日本マスターズ協会に登録してから早や3シーズンが過ぎました。その間次第に登録メンバーも増加し、殊に62年度はジャパンマスターズ'87 が神戸で開催された事もあって一挙に倍増、63年1月現在26名の方が凌泳会チームとして登録しています。今年(63年)は第2回世界マスターズ水泳選手権大会がオーストラリアで開かれる事になっており、当チームからも何人か参加されそうです。未登録の方々も健康増進のためマスターズに登録し昔、親んだ水泳に再取組んで頂き度くお誘い申し上げます。

興味のある方は小生まで御一報下さい。資料並に登録申請書お送り致します。

〔63年1月現在登録者氏名〕

小山賢之助、三宅林、中井三郎、石井義章、田淵五郎、細田忠雄、米田啓祐、井上隆史、山田貴彦、浅間啓介、岡田重義、武政英幸、前田和秀、日野康、宮部高博、玉置明、岩切博、佐敷定雄、平石康、上田剛弘、山本隆、山野和則、長崎真人、金一波、藤本栄美、南谷昌宏。 以上

昭和62年度短水路大会

◎ 千葉県我孫子市会場

プール セントラルスポーツあびこ

日時 昭和62年5月10日

凌泳会関東支部有志3名で出場しました。今回はリレーチームが編成出来ず残念でしたが五月晴れの一日を楽しく過ごしました。試合後のビールの味はやはり格別のものでした。記録は下記の通りです。

記

氏名	年区分	種目	タイム	順位
田淵五郎 (昭30B)	50+	25背	17' 21	1
		50背	37' 31	1
武政英幸 (昭39B)	45+	200個	3' 20' 03	1

			50蝶	34" 85	1
宮部高博 (昭42L)	40+	25自	14" 01	2	
		50平	40" 98	3	

(昭42L 宮部高博 記)

◎ 兵庫県神戸市会場

プール スポーツクラブNASポートピア

日時 昭和62年5月24日

三宅先輩を先頭に若手4名と計5名出場、下記の通り素晴らしい成績をおさめる事が出来ました。殊に三宅先輩、藤本嬢などは2位以下を大きく引き離して大勝利でした。3位までメダルが貰えましたので出場者全員が出場種目のすべてにメダルを獲得しました。成績は下記の通りです。

記

氏名	年区分	種目	タイム	順位
三宅林 (昭21学)	60+	50平	43" 3	1
		100平	1' 40" 3	1
山本隆 (昭57E)	25+	100自	1' 05" 9	3
		100蝶	1' 13" 3	3
山野和則 (昭59A)	25+	100自	1' 03" 2	2
		100平	1' 18" 3	1
長崎真人 (昭59B)	25+	25平	16" 0	1
		50平	35" 4	2
藤本栄美 (昭59準)	25+	50自	33" 3	1
		200個	3' 15" 2	1

(昭57E 山本隆 記)

ジャパンマスターズ '87

凌泳マスターズ事務局 石井義章

日本マスターズ水泳選手権大会は短水路大会(25m)と長水路大会(50m)があり、前者は4~5月頃に全国数か所の会場で、後者は秋に東京で開催されるのを例としてきた。所が本年初めて長水路大会が東京を離れ神戸のポートアイランドプールで9月12日(土)、13日(日)の両日に開かれることになった。我が凌泳会のマスターズ連も地元のこととて大いに張り切り、関西

勢は勿論東京勢も小山会長を先頭に続々と参加の名乗りを挙げてきた。

事務局としてもこんな大規模な大会を取り扱うのは初めてである。大会要領の案内、エントリー票の受付、申込金の徴収等嬉しい悲鳴をあげることとなった。又これを機会に登録を申し込んで来る人もあり、大会前には登録者26名となり内16名が出場する事となった。その顔ぶれは別掲成績一覧表の通り関東、関西ほぼ同数、地元の我々が出場するのは当然として、はるばる東京から参加される熱意には感激した。

この熱意に報いる為にも出来る限りの受入態勢を整えておかねばならぬ。その一つは各地から集まって来る仲間に集合場所をどうやって知らせるかである。プールの見取り図にマークを入れて配付したが広いスタンドのこととて分からぬかも知れぬ、何か目印が要るだろうと思案の結果、数年前凌泳会60周年記念の折り姫路の山口君が作ってくれた赤禪を旗に仕立てる事を思い付いた。かっぱのマークを上にしてその下に白エナメルで「凌泳会」と大書した。早めにスタンドの陣取りをしてこれを立てておけば遠くからでも見えるだろう。今一つは折角これだけのOBが集まるのだから懇親会を持ちたいと考え、12日の夜KUCに会場を設定した。何分出席人数もレースの終了時間も流動的なので果たしてうまく全員が揃えるか不安だった。

いよいよ初日、7時前赤禪の凌泳旗を肩にプールに出掛ける。私は兵水連から競技役員を頼まれているのでそのほうに縛られ自由が利かない。誰か来てくれれば頼もうとキョロキョロしていると山野君の顔が見えた。これ幸いと旗を押し付け役員点呼に駆け付ける。又両日のチームの世話役は上田、山本の両君にお願いした。リレーオーダーの提出とかデッキシーディングなんていう耳慣れぬ作業があって結構ややこしいのである、この紙上を借り改めてお礼を申し上げる。

定刻8時競技開始、何分参加総数2,200人それが一人2~4種目出るのだから大変なレース数である。競技は総てタイムレースの一発勝負、フライングも一回目で失格、その上50mプールの両サイドから男女交互にスタートするのである。一番驚いたのは400m自由型、両サイドからスタートするのは前述の通りだがその上1コースで二人泳ぐ、片側がスタートして75m位行った頃に反対側が追い掛けるように飛び込む。当然途中でクロスすることになるがそれぞれ泳ぐサイドを決められているとみえてぶつかることもなくスムーズに進行した。窮すれば通ずと言うが成る程やりようもあるものだと感じることしきり。

この日の競技は順調に進み過ぎて予定より1時間も早く終了し、お陰で懇親会は6時半から開くことができた。競技に出なかった榊原君、橋本君、丸山君、島崎君、又競技役員を勤めている高岡君、それに現役の安井君も顔を見せてくれた。その上驚いたことに披山参議院議員の飛び入り参加まであった。誰が知らせたのか知らぬが議員先生もお忙しいのに大変なこととほとんど感謝、感心する。9時過ぎ商神の大合唱を最後に明日の健闘を約して解散した。

明けて13日、昨日と同じ場所に陣取りに行ったが昨日の疲れか懇親会の飲み過ぎか中々集ま
って来ない。やっと長崎君が来たので席の確保を頼み自分の職場へ駆け付ける。

今日は私の唯一の出場レース50平がある。競技を離れて35年自信はないが皆に出ろ出ると
勧めた手前一つくらい出ないと申し訳ないのでエントリーした。

スタート台に立つ。遠い昔に感じた興奮が懐かしく全身を包む。号砲とともに飛び込む、無理
するな、ゆっくり、と自分に言い聞かせながらそれでも知らず知らずに力が入りあせりを感じる。
やっとゴール。コースロープにつかまり一息入れていると頭上を次の女子の組がスタートしてい
った。タイム、着順は所詮望むべくもないが久しぶりでレースの興奮を覚えたことで満足する。

皆が揃ったところで記念写真でも撮ろうとしているとあの葉室鉄夫氏(ベルリンオリンピック
平泳優勝者)が小山会長を見付けて寄ってこられた。早速一緒に写真にはいっていただく。この
後遠方へ帰る人もあろうかと、各自レースが終れば自由解散と言うことでお別れした。

本大会に於ける凌泳会チームの活躍は目ざましく、金メダルは小山会長の3個を筆頭に山野君
1個、銀メダルは佐敷君、銅メダルは三宅氏、田淵君、山野君、藤本さんの4人が獲得、その他
4位から8位に与えられる青銅メダルは多数という成績であった。しかし、それにもまして特筆
大書すべきは参加300チームの殆どがスイミングクラブである中で、大学水泳部OB会と思わ
れるのは我が「凌泳会」のみであった事である。稲泳会、芝浦工大等、それらしき名も見えたが
出場各1名ではチームと言えない。

健康維持のため水泳が良いことは万人が認めるところ、殊に青春の一時期水に親しんだ我々は
人一倍水に郷愁を感じる。しかし思い立ってプールに通いかけても中々続かないものだ。所が何
か一つ目標があると張り合いが出、興味が湧いてくる。皆さんも是非マスターズに登録されるよ
うお勧めしたい。春の短水路大会、秋の長水路大会その他地区別の公認大会とか海外遠征等いろ
んな競技大会が開かれている。来年は更に沢山の仲間が凌泳チームとして各種大会に参加されん
ことを祈りつつご報告としたい。

出場者全員の成績下記の通り。

ジャパンマスターズ '87 成績一覧表

昭和62年9月12/13日 於、神戸ポートアイランドプール

氏名	卒年	年令	種目	順位	タイム
1 小山 賢之助	(7学)	(75+)	50平	1	49-26
			100平	1	2-03-24
			200平	1	5-01-82

2	三宅 林 (21学)(60+)	50蝶	3	45-64
		50平	5	44-18
		100平	5	1-43-25
		200平	4	3-55-74
3	石井義章 (27学)(55+)	50平	9	49-28
4	田淵五郎 (30B)(50+)	50背	4	38-03
		100背	4	1-25-08
		200背	3	3-15-63
5	井上隆史 (37B)(45+)	50背	8	38-38
		100背	8	1-28-75
		200背	5	3-17-55
		200個	8	3-20-75
6	武政英幸 (39B)(45+)	50蝶	12	35-61
		200個	9	3-23-41
7	前田和秀 (40J)(45+)	50背	14	43-17
		400自	26	7-20-60
8	宮部高博 (42L)(40+)	50自	26	31-52
		100平	13	1-36-17
		200平	12	3-43-36
9	岩切 博 (46S)(35+)	50平	15	39-87
		400自	18	6-29-59
10	佐敷定雄 (49A)(35+)	50蝶	7	31-78
		100蝶	2	1-16-93
11	上田剛弘 (56B)(25+)	50自	34	30-28
		100自	20	1-08-96
12	山本 隆 (57H)(25+)	50蝶	8	31-80
13	山野和則 (59A)(25+)	50平	9	36-51
		100平	3	1-17-97
		200平	1	2-54-16
14	長崎真人 (59B)(25+)	50平	6	36-13

15	金 一 波 (59E)(25+)	50自	7	27-80	
		100自	8	1-03-67	
		200自	9	2-27-64	
16	藤 本 栄 美 (59準)(25+)	50自	5	32-85	
		200自	3	2-52-47	
		200個	5	3-14-21	
		リレー 凌泳会 関東 (160+)	200自	9	2-02-20
		(井上, 宮部, 武政, 佐敷)			
	リレー 凌泳会 関東 (160+)	200混	7	2-19-24	
	(井上, 宮部, 佐敷, 武政)				
	リレー 凌泳会 関西 (119-)	200自	7	1-54-40	
	(山本, 山野, 上田, 金)				
	リレー 凌泳会 関西 (119-)	200混	6	2-12-87	
	(金, 山野, 山本, 上田)				
(以下 他クラブ所属)					
	松 田 司 朗 (32J)(50+)	200自	8	3-08-85	
	手 島 忠 之 (41S)(40+)	50自	16	30-22	
		200自	15	2-52-01	
		200個	8	3-15-63	

ジャパンマスターズ'87参戦記

手 嶋 忠 之(和41S)

私、昭和41年に卒業しまして22年間、凌泳会総会、月見の宴等、凌泳会の行事には欠席ばかりしておりまして、凌泳会の幹事の方はもとより、会員の方、又現役の皆さんには失礼ばかりしておりました(会費だけは払っており、毎年送られてくる凌泳会会誌「凌泳」は楽しみにしておりました)。しかしこの度、日本マスターズに参加した折りに、小山会長はじめ先輩、後輩の方々にお会い出来、そして一緒に泳ぐことが出来まして、ほんの僅かではありますが、会員の責任のようなものを果たしたような気がしております。

卒業して10年位は、全く、水泳とは縁の無い生活をして居りましたが、10年位前に、家の

近くに温水プールが出来ましたので、早速会員に成り、週に1回位泳ぐようになりました。6年前には、私の勤務先の大学(中部大学)に温水プールが出来ましたので、仕事の後、週2回程泳ぐようになりました。泳ぎ始めますと、体の調子は良くなり、タイムにも欲が出てきて、市の水泳大会や、マスターズ大会(短水路の日本マスターズ大会で地元で開催される)な、時々出るようになりました。

昨年でしたか、凌泳会幹事の石井先輩(昭27学22)から、凌泳会が日本マスターズにチーム登録するので参加しませんかというお手紙を頂きました。その頃、私は東レSC(私の大学のプールを東レSCが管理している)に属しておりましたし、将来、大学の仲間とチーム作り(現在は、泳ぐ仲間は沢山おりますが、マスターズに参加しようという人はなかなかおりません)、マスターズに参加したいというようなことを考えておりましたので、当面現在のチームの儘にしておきます、というような返事を書いたように記憶して居ります。

本年の5月、日本マスターズ短水路大会が、四日市(東海ブロック大会)で開催され、それにも参加しました。その時、プログラムに井上隆史先輩(昭37B10)の名前を見つけ、所属が凌泳会となっておりますので、凌泳会の存在を非常に身近に感じた次第です。そんなことがありまして、7月でしたか、1年後輩の宮部君(昭42L15)から、長水路日本マスターズに参加しませんかという電話を頂き、開催場所が神戸でもあり、凌泳会の方も多数参加されるということでしたので、私も出てみる気になった訳です。

長水路日本マスターズ(ジャパンマスターズ'87)は、9月12、13日、神戸ポートアイランドのスポーツセンターで開かれました。ここのプールは、一昨年、ユニバーシアード大会が開催されたところで、近代的な設備を備えた非常に泳ぎ易いプールでした。予め石井先輩のほうから、凌泳会の席を知らされておりましたので、そこに参りましたところ、小山会長(昭7学1)をはじめ、武政先輩(昭39B12)、前田先輩(昭40J13)、宮部君等懐かしい方々に再会しまして、一遍に、22年前の現役時代に帰ったような気がしたものです。そこでは、岩切君(昭46S19)、佐敷君(昭49A22)、山本君(昭57E29)、金君(昭59E31)といった「凌泳」誌上ではお馴染みですが、私には初対面の後輩にも会うことが出来まして、「凌泳」でしか知り得なかった卒業後の水泳部の一端に、触れることが出来たような気がしたものです。

参加人数は2,219人にも達したのですが、近代的設備のお陰でしょうか、競技は、プログラムの予定時刻よりも1時間以上も早く進んでいきました。皆さん、健闘されて非常に良い成績を収められた。結果は、多分この誌上に載ると思いますので、割愛致します。

第1日目の夜には、神大クラブ(KUC)で懇談会が催されました。大会には参加されなかつ

た方も集まれ、そこで丸山先輩（昭40T13）にも会うことが出来、久しぶりに神戸大学当時の空気に浸ることが出来ました。

22年間、夜泳会の皆さんには御無沙汰ばかりしておりましたが、この度、この大会に参加する機会に皆さんに会うことができて、本当に懐かしいそして楽しい一時を過ごすことが出来ました。このような集まりの準備をして頂いた石井先輩をはじめ、大会には出場されませんでした。大会の運営に尽力されていた前田先輩（昭34S7）、高岡先輩（昭37P10）、そしてこの大会に誘って頂いた武政先輩、宮部君に感謝しております。

現 役 部 員 寄 稿

「 MORE SMART 」

主将 水球主任 守 沖 敦

今日中にこの原稿を書き上げてしまわないと、古谷、村田の冷たい視線のみならず凌泳が発行できないとなると、いかに無責任な私といえども、筆を持たざるを得ない。しかし、いかんせん文才のない私にとって、すらすらと文章の書けようはずもない。二時間も座っているがまだ一行も書けない始末だ。気分転換にヴィバルディの「四季」をBGMに流しだしたが、春、夏、秋までレコードの針は進んでも私の筆は進まない。自然と昔の「凌泳」を引っ張り出してきては読みふけてしまった。昭和60年度号を見ていると、関国V3、全国2位と書いてある。「へえー昔は強かったんだ。」改めて実感する。私が入部してからは低迷してばかり、私が主将となった昨シーズンも全然ぱっとしなかった。情けないやら恥かしいやら、先輩方には頭があがりません。しかし、私は元来楽天主で、過去の苦い思い出を明日の希望の種^{タネ}にすることは得意なのだ。もう今シーズンのビジョンはできあがっているのだから、あらすじを披露しましょう。まずシーズンオフの間は、週に三回程神戸イトマンで泳がせてもらい、毎日の陸トレで筋力強化を計る。三月からのプレシーズン期には、関学との合同練習で水球をやり、春合宿での泳ぎ込み。そして四月からはウェットスーツを着て、六甲台プールで練習開始。(と、ここまでは計画通りに進んでおります。これからは希望的観測)次に、いよいよインシーズンですが、水球はもちろん関ポロ優勝。競泳は、兵庫IC、関国優勝、関西IC一部復讐をはたしてはずみをつけて全国国公立で燃焼して上位入賞です。どうです、雄大なビジョンでしょう。しかしこれは決して実現不可能な夢ではありません。なぜならこのために我々は練習しているのだから。そして主将として現役部員に一言。これからのクラブは「Not harder more smart そして楽しく」でやります。もちろんここの「楽しく」は軟弱な意味ではなくて、苦しい時ほど燃えてやるという意味です。それから頭を使いましょう。バカでは速くできませんからね。

以上拙い文章を長々と書いてきましたがお気を悪くなされた方、どうもすいません。それから、私のビジョンが達成されずともろくも崩れ去ってしまったらお笑い下さって結構です。最後になりましたが、村田君、古谷君、迷惑をかけてすいません。

P・S・ 金さん、田中さん、原田さん、甲野さん、昨シーズン中にはいろいろお世話になり有難うございました。また今シーズンもお力添えよろしくお願いいたします。

予 感

競泳主任 竹 本 和 広

人間の予感的的中率は案外高いものである。例えば、* 今日は何か起こる* などと胸さわぎがする時にはたいい大きな事件が身の回りに起こったりする。そして大会、試合前の* 今日は勝てそうな気がする* * 負ける気がしない* などという予感もたいい的中する。しかしこの予感は決して突然に降ってわいてくるものではなく、厳しい練習を乗り越え、精神集中をしたとき初めて、この確かな予感が生まれるのである。

そして今年、また数々の大会、試合を我々は闘うわけであるが1つでも多くこの勝利の予感の後に訪れる真の勝利を手に入れるべく、100分の1秒でもタイムを縮める努力を怠ってはならない。そして全員が丸一となって進み始めた時、神戸大学水泳部は勝利へと暴走する。

と肩をいからせなくても* 本当に勝ちたい* と思いつつ最大の努力を能率よく続ければ必ず勝利は転がってくるものである。ピース。

水泳部員であるためには

主務 黒 田 茂

水泳部に所属するすべての部員に対して要求されることにはどのようなことがあるだろうか。水泳を志して入部したのであれば、当然、練習することが要求されるだろう。では、他には何もないのだろうか。水泳部がその運営を部員によって行っているということからすれば、各部員にはこれに伴った仕事を遂行することが求められているはずである。しかし、現在の水泳部には、このマネージメントが全部員に要求されているものとして受け取られていないように思う。もちろん、マネージメントの遂行にあたって、主務及び副務が中心となるのは当然であるが、他の部員にも、その義務があるはずである。水泳部という集団の一員であれば、それを自覚する必要がある。ただ、練習に参加するだけではこの自覚も生まれて来ないだろう。クラブから、練習することとは別に何らかのことを要求され、それに応えることで、初めて、真の水泳部員として認められるのではないだろうか。

仕事を与えられても、「めんどくさいからやらんとこ。」などと思っていたのでは部員として失

格である。「仕事で手抜きをすれば、クラブ全体に迷惑をかけるのだから、責任をもってやらねばならない」と思ってもらいたい。また、そうすることで自分がクラブに必要な存在であることを認識し、一部員としての自覚も生まれてくるのだと思う。

水泳部という集団の中で、自分に課せられた責任を果たすことが水泳部員であるために必要なのだということを、すべての部員がよく認識してもらいたい。

最後になりましたが、昨年の全国インカレ出場に際しまして、OBの方々から多大なる援助を頂きましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

スポーツをしていると、人間はやはり海から来たんだと体が感じてくれる。でもやはり、ブリスベンでの水球が最高だった。練習が待ち遠しい気持ちは初めての経験だった。全米代表のシュートが初めて手に当たった時の感激は今でも覚えている。

昨日は久しぶりにディスコへ繰り出した。背の高い女の子が多くて、のりのいい奴が多くて、これで英語が完璧だったら……。一緒に踊ってもその後が続かない。まだまだ修業が足りません。踊り疲れたあともいいが、真夏の練習が終わって家へたどり着いて、そのまま眠りに落ちていく時の快感は忘れられない。プールの塩素のあの「クスリ」の臭いの方が、マリファナよりずっと好きだ。でも、天地が三回引っくり返っても「六甲のおいしい水」にはもう一生入りたくない。

それにしても暑い、40℃くらいか。また海へ戻ろう。丁度いい冷たさだ。それでは4ヶ月後に。この本を手に行っている現役諸君、初泳ぎも終わって関ボロも近い。いざ、氷の海へ

有利 英明 63.1.23 シドニーにて

(E36) 後呂 忠詳

私の十年にわたる競技生活が終った。不思議と水泳選手としての自分に執着は無い。私は、競技者の目標は常に世界へでなければならぬ、と思っている。その意味では、私の競技生活は長過ぎた、という気持ちがしないでもない。

神大水泳部に入学して四年。クラブで一番わがままな男と呼ばれ、好き勝手な事をしてきた。そんな私を追い出しもせず、幹部として推し、支えて下さった方々には感謝の気持ちで一杯である。この四年間に私に多くの刺激を与えて下さり、また好悪を問わず私の刺激を受けられた方々に心より感謝とお詫びの気持ちを表して卒部の辞とさせていただきます。

“水泳部を卒業するにあたり一言”

(P36) 木 下 憲 臣

後輩の試合を見に行くと、無性に水泳がしたくなり、1シーズン遅れの9月に入学したが、3日にして熱いコーヒーに溶ける「クリーブ」の様に水泳部に溶けてしまった。

鵜の活動に関して自慢できることは皆無に等しいが、ただ胸を張って言えることは、大学生活における自分の生き方を発見できたことであろう。わけも分からず、ただがむしゃらに泳いでいるうちに、自分はどう生きていくべきかということ、私はこの神大水泳部から教えられた気がするのである。教育学部ということもあり、最も活発な時期である6月に教育実習、教員採用試験等で六甲台に足を向けることが少なくなったのは、とても残念なことであるが、自分の置かれ

た立場のなかで精一杯やれたという自信はある。

水泳とは？ クラブとは？ 等真剣に考えることは極力避け、とにかく“やる”ことをやればいいと思って今までやってきた。これからもそうしていくつもりである。

とりとめのない文章であるが、部を去るにあたり考えることを書き連ねてみた。

P・S・ — 後輩諸君へ —

我がまま放題であったかもしれないけど（40期生諸君は知らないでしょう）、酒と説教と、onnaが好きな奴があったな。ということくらいは覚えといて下さい。 柄の悪い姫路もん

（A36） 甲野 賢

4年の間に御迷惑をおかけしました多くの先輩方、12人の同輩達、多勢の後輩達、何軒もの飲み屋さん、たくさんの一般市民の皆様、何人かの巡査さん、その他電燈や標識や選挙ポスターや植木や様々な数えきれない器物破損で御手数をおかけしました皆様、どうも申し訳ありませんでした。また、四年の間に私に迷惑をかけた多くの先輩方、12人の同輩達、多勢の後輩達、退部してしまった後輩達、ガラの悪い一般人の方々、どうも有難うございました。ところで私は、有利の下半身や、後呂のヨーデルや、近藤のステップや、木下の説教や、郡のスーツ姿や、平の青山通り出現や、徳永の〇〇や、中塚の下品さや、森田のゲロ噴水や、加地の日本語や、井口の落書きや、高元の奥歯や、安井さんの年令に比べれば私ははるかに目立たない部員であったことを自認しております。

（T36） 郡 幸雄

4年間の水泳部での生活が終った。4年間のほとんどを“水泳部”という場ですごした。中学、高校と水泳をやってきて、その延長という感じで大学でも水泳を始めたが、大学での4年が一番「勝負」にこだわった。勝った時の満足感を得たかった事もあるが、同時に負けることの敗北感が嫌だった。2年目のシーズンなどは負ける怖さの方が大きかった。

しかし、水泳が嫌だとは思ってはいなかった。負けた時、自己嫌悪になったこともあるが時間がたてばすぐ忘れてしまっていた。

練習のあの各自各々の目的を持っての練習する雰囲気や、試合下の緊張感が好きだから、4年間も水泳をやってくれたと思う。

生意気な私をいろいろと面倒を見ていただいた先輩、4年間一緒に活動してきた同輩、生意気であるがどこか憎めない後輩、こんな仲間と一緒に一つの場で活動できた水泳部が好きです。

4年間水泳部をやってきて、自分なりに勝負にこだわって来た4年間に満足している今は「水

泳部をやってきて良かった」という気持です。

(B 3 6) 近藤 直明

どうしても勝ちたいライバルがいた。関学の権野。同じ自長で同じ回生である。彼とはそれまで400mで5勝1敗、1500mでは6戦全敗であった。1500mでアイツを負かしたい。その思いを胸に、冬を忍び、最後のシーズンを迎えた。87年の兵庫インカレ。この試合で関学のV4を阻止することが我々幹部の目標の1つでもあった。1500mのレースでは甲南の新人東岡と、その対抗のために自長に転向した神大古谷との争いになることが予想された。そして3位を争う権野と私が隣りのコースに、田嶋(商船)が逆サイドに並んだ。

私はいつものように権野にメンチを切りながらスタート台につく。そして冷たい水の感触。私は自分のペースでレースを組み立てることを考えた。前に行く権野との差は10m。そして10m後ろには田嶋。このままの形で800mを折り返した。先頭では古谷と東岡が激して争いを演じている。

1000mを過ぎる。権野との差は開かない。絶好のチャンス到来である。権野に気づかれぬようレーンの逆端により、じわじわとペースを上げる。差は5m、3m、相手はまだ気付かない。1300m、一気に権野を抜く。一瞬、権野の焦る顔が見える。差は1m、2m、相手はついて来る様子はない。やった! ついに権野に勝った! 1400mの鐘を受けながら、私は顔がニヤけるのを隠すことができなかった。私が権野に勝ったことなど、チーム全体の目標に比べれば、はるかに小さく、些細なことであることは十分わかっていた。しかし、そのことによって(あるいはそのような目標を持ったことによって)チームの雰囲気にも少しでも影響を与えることができたならば、それだけで意味があるのではないかという思いはあった。

(追記) 2年間、主務としてえらそうら態度ばかりしていた私を、陰に陽に支えて下さった皆さん、特に、中川先輩、高元さん、井口さん、奥村君、黒田君には感謝の限りです。どうもありがとうございました。

(A 3 6) 坂田 亨

今、この場所に、水泳部で過ごした4年間の事を書こうとすると、あまりにも思い出が多すぎてとても文章にすることができません。だから、頭の中に浮かんでくることを断片的に書いてみました。

○水 泳……なまった体をシェイプ・アップしようと思って始めたのに、いつのまにかやめられなくなった。

- 水 球……もっと一生懸命練習すれば良かった。コーチしていただいた田中さんや原田さんに申し訳なくて……。 浦野さんゴメンナサイ。
- 造幣局の……はじめて酒を飲んだのが、この時のコンパでした。ビールが異常に苦かった。源 通り抜け 八橋の上を渡るのは、スリルがあっておもしろかった。でも、もうできません。
- お 酒……自分は飲めないと思ってました。
- 野 沢 の……何回も吐いて緑色の顔をしている僕に、それでもウィスキーを飲むように勧めて ス キ ー 下さった親切な鈴木さん、どうもありがとうございました。
余談ですが、普通の子大生だった井口恵理が、普通じゃなくなったのも、この時でした。
- コ ン パ……歌あり、芸あり、涙あり、笑いあり、なんでもあり、いろんなコンパがあったけど、やっぱり試合に勝って大勢で喜びあったコンパが最高に楽しいと思った。
- 水 泳 部……泳ぐ事が好きでしかたのない人間の集まりだから、みんな共通の目標を持っているから、一緒にいても楽しかったし、やる気がわいた。でも、あの時もっとクラブに貢献したかった。もっと後輩にいろんな事をしてあげたかった。今になってそんな事ばかりが気になります。4年間にはいやなこと、苦しい事がいっぱいあったけど、今思い出されるのは楽しかった事ばかりです。悔いがないといったら嘘になる。だから、後輩のみんなには悔いが残らないように精一杯がんばって欲しい!
- お 礼 と……最後に金さんを始めとするその他大勢の先輩方、一緒に遊んでくれた後輩達、いろいろと迷惑をかけた4回生のみんなにこの場を借りてお礼を言いたいと思います。ほんとうにみなさんどうもありがとうございました。それから、ずうずうしいとは思いますが、社会人になってもご指導よろしくお願ひします。

(A 3 6) 徳 永 守

4年間、不真面のレッテルを張られていた私ですが、紙面を借りてそのレッテルを少しはがしておこうと思います。水泳部に所属している以上、私達には、自己ベストの更新という共通の目的があります。各人がその目的のために努力するわけですが、目的達成の方法は、各人のレベル、体質等によって様々で100人いれば100通りの方法があると考えられます。体力のない者は、体力作りから始め、フォームの悪い者は、フォームを矯正します。そして、あるレベルまで行くと、自分の体に合ったフォームを追求しはじめます。肩のかたい者が特殊なキックで体のバランスをとったり、足首のかたい者がブル中心の泳ぎをめざしたりします。また、ダッシュ力におと

る者は、瞬発力をつける練習をし、後半にバテる者は、持久力をつける練習をします。私の場合フォームが完成していなかったため、自分のフォーム作りに重点を置いて練習をしましたが、疲れてくるとフォームが乱れてしまうため、すぐに休憩をとったり、種目を変えたりしていました。乱れたフォームで泳ぐことが、ベストタイムの更新に役立つとは思えなかったからです。合宿・強化練習などで距離を泳がなくてはならない時は、同じ背泳でも、自分の真の練習用の泳ぎと、ただメニューをこなすためだけの泳ぎと、2種類の泳ぎを行っていました。このメニューをこなすためだけの泳ぎが手を抜いているように見えたのでしょう。実際にふざけて泳ぐなどよく言われました。この場得上記の理由を理解していただきたい。自信を持って自分の方法で練習を行った結果毎年自己ベストを更新し、杉山氏の持つ100m背泳の記録をぬりかえられたことは、私の誉りです。

最後になりましたが、4年間私をかわいがって下さった先輩方に深く感謝いたします。後輩諸君には次の言葉を送ります。「記録に残る選手より、記憶に残る選手になれ」健闘を祈っています。さようなら。

(A36) 中塚 泰弘

ついに私にも、卒部の辞を書く時がやって来た。この4年間は、記録的には、全く進歩がなかったが、それだけに、いろいろなことを経験できた貴重な期間であったと思う。入部当初、どうしてもクラブの雰囲気になじめず、クソ面白くもない水球(当時はそう思っていた)までやらされて、何度もやめようと思ったことが、なつかしく思い出される。当時と比べて、人間的に、少しは成長したような気がする。

今、卒業するに当って、水球も競泳も、大した記録も残せず、中途半端に終わることが残念ではない。もっと努力すればよかったと思う。しかし、あの時にクラブをやめずによかったというところ、つくづく感じる。やはり、クラブは最後までやってこそ価値が出て来るものだと思う。

最後になりましたが、この4年間にお世話になった多くの皆様方に、心より感謝いたします。特に、変な同回生の皆様、ありがとうございました。誌面を借りてお礼申し上げます。また、現役部員の皆様、何の教訓も遺さず、卒業する不幸をお赦し下さい。

(J136) 森田 武士

多くの先輩達が残されていた言葉をほんとに実感できるのは、この時期だと思うのは僕だけではないだろう。そういう時期に至って後悔染みたことを書くのは自分に対する言い分けにしかないから書かない。

先輩にとっては他のどの後輩よりも生意気な後輩だったし、同輩にとっては一番頼りにならん同輩だったし、後輩にとっては一番いい加減な先輩だったと思う。今さら謝っても仕方ない。だから謝らない。でも、神出鬼没だった僕を顔を合わせれば、いつでも励ましてくれた水泳部の仲間には何よりも感謝の気持ちでいっぱいです。もし、そんな仲間がいなかったら僕の大学生活は、ちっとも輝きを持たなかつただろうし、今の自分という人間も存在しなかつただろう。みんなの明るい声がどれ程、僕を勇気づけてくれたことか！ それ程世話になった水泳部に今は何の恩返しもできないけれど、これから少しでもそれに報いることが出来るような男になりたいと思う。

最後にコンパでは、たびたび、ありとあらゆる人々を恐怖のドン底へとつき落とし大変申し分なく思っています。これも謝っても仕方のないことですが、今後そのような危ない部員が現れることのないよう、お祈りします。今後の活躍期待しています！

(T 3 6) 井口 恵理

昭和60年3月水泳部 SKI TOUR。何も知らないで参加した普通の(?)女子大生は毎夜くりひろげられる酒宴に目を丸くしていました。「この世にこんなに Tough な世界があったのネ」でも、それだけではなかつたのです。グラスを片手に騒いでいる多勢の人達の顔が、妙に生き活きしていて、それがとても不思議で、とても羨ましくもあつたのでした。

不安だらけでプールサイドに立ってから、本当に様々な事があつたなあって、卒業を目前にして懐かしく思い出されます。ピッというWATCHの音、パシャッとかかる水しぶき、大声を出して応援して、試合に負けてぼろぼろ泣いて、ギャグにおなかかかえて大笑いして、先輩に怒られて……。暑いよ～～、しんどいよ～～と思っても一生懸命に泳いでいる選手達や、「えりちゃん！ BESTや、旗立ててー！」って帰ってくる嬉しそうな顔を見ると、すぐに忘れてしまっていました。だから、後輩のみんなには、スタート台に立てるチャンスを、1つ1つのレースを大切に精一杯がんばって欲しいです。そして、どんどん強くなって、どんどんかっこ良くなって欲しいです。

最後になりましたが、水泳のすの字も知らない私に優しく指導して下さったマネージャーの方々、可愛いがって下さった先輩方、励ましてくれた同輩達、慕ってくれた後輩達、そして神戸大学水泳部に心から感謝します。3年間ホントに楽しかったです。ありがとうございました。

(J 3 6) 加地 恵

4年間、今さらながら驚いてしまうほど数々のわがまを許して頂き、本当にありがとうございました。

いました。私にとって、あたたかく居心地の良かった神大水泳部のおかげで、今の私があり、楽しかったと実感できる4年間がありました。1回生の時に参加した試合は3つだけ、春合宿は参加出来ず、2回生の夏もシーズンを半ばに終わってしまうという、水泳部の一員でいるのにはあまりにも、わがままな振舞いの1年半でした。私にとってはどうすることもできない事情のためとはいえ、絶対に許してもらえないだろうし、辞めようと思っていました。このような私でしたが多くの人達に励ましてもらい、また、あまりの居心地の良さに、1年目で辞めてしまうことなく、できるだけがんばってみようとする気を出すことができました。どっぴりと水泳部につかってしまいました。水泳部での思い出の数々は、あまりにも鮮明でどれもついこのあいだの出来事のように思います。多くの人達に出会って、多くの考え方、人柄に接しました。多大な影響を受けました。時には厳しく、そして、いつも元気づけてもらったおかげで、私にとってハードだった練習もどうにかこなすことができました。充実感や満足感を与えてくれました。かけがえのない4年間でした。いつまでも、パワフルで居心地の良い神大水泳部であってほしいと思います。お世話になった方々、本当にありがとうございました。

(甲南大・文) 高元 智子

思い起こせば4年前、花の女子大生するぞと固く心に誓っていたはずなのに、気がつけば自分の大学から離れて、山の中でキラキラ光るプールサイドで、ストップウォッチ片手に何事か叫んでいる自分の姿がありました。

それから4年間、苦しい体験も楽しい体験も、素適な感動もさせてもらいました。女子の先輩方とともにミーハーやって熱狂していた時期もありましたっけ。(うーん、あの頃は若かったのね)水球の試合でも、私は応援するだけなのに、それでも絶叫してたり、涙をこぼしたりと騒々しい人間でした。(でも、水球が好きだったんだから、と自己弁護いたします。)

競泳のことなら高校の時とおなじだわ、と思っていましたが、水球の事に関しては全くの無知だった私。そんな私に、心優しく先輩方は親切なご指導をして下さいました。“ただ、ボールを見ていればいいのよ。”こうして、関ボロ・関ボロJr.の時に白テントの下で、ドンのように座っている私が誕生してしまったわけです。(まあ、なんてずうずうしい奴と自分で思ってます。)

この4年間、素晴らしい先輩・同輩・後輩方に恵まれ、かつ、皆様に大変なご迷惑ばかりかけどおしていただけたけれども、とても楽しく過ごしてこられた事、すごく感謝しています。特に、井口さん、加地さん、ありがとうございます!後輩の皆さん、これからも精一杯頑張って、素適な人生の1ページを創って行って下さい。そのページが白いままで終わるか、様々に彩られるかは、自分次第ですものね。今後のご健闘をお祈りいたします。

メニューをワープロで打ってしまうという熱心さです。水球では御自慢の左手で今年は、見事なシュートを見せてほしいという我々の期待にこたえて下さる事でしょう。

守沖 敦(主将。水球主任)；J37：平：広島修道高

健康に注意しろとおっしゃる彼は、本当に自分に対しておっしゃっているのである。ミーティングの時には自分の反省談になっているのに気付かないのも彼である。練習のあとにはいつも「あーだる」と言っておいて我々を元気付けてくれます。そんな彼が燃え尽きた時には燃える立派な主将です。

川上 景子；P37：個：尼崎北高

練習の後、「おつかれさま」とにっこり声をかけて下さる川上先輩は本当にかわいいです。1日に3レースも出場される事もしばしばとか。男子にまじって水球をされるとか、とてもそんなパワーあふれる女性には見えないんです。今シーズンも女子面のリーダーとしての先輩の御活躍を思いっきり期待しています。

村上 美和；P37一背：天王子高

とってもFasionableなんです。とても水泳選手には見えません。このギャップがいいんですね。でも、ひとたび試合となるとパワー全開、とってもカッコいいみわさん、です。そして、みわさんのバックはかわいいんです。昨シーズンは女子面の柱として大活躍でしたが、今シーズンもより一層のがんばりを期待しています。

(三回生)

浅川 明弘；M38：背：甲府東高

年齢不詳。推定年齢30～40才。身長180cm以上。声が低く口数が少ないのが特徴。神大医学部に在学中だが教養部が大好きである。夏は水泳、冬はスキー、スケート、夜はディスコでナンパと多方面で様々な才能をもち、多くの顔をもつが、正体は未だに不明である。水泳部では夏、誰も泳いでいない時に、突然タイムトライをして短水路でベストを出してし

まうという、ちゃっかり者の一面をのぞかせる事もある。

岡崎 憲之；P38：蝶：尼崎北高

彼が部内にセンセーションを巻き起こしたのは10月の末日。周囲の期待にもめげず、見事正進を成し遂げたのです。でも彼のシュートは何故かよくキーパーの手に当たってしまいます。また、彼のギャグは物量作戦。でも当たれば大きくホームラン級ギャグを飛ばします。そして、彼は我が部の重要人物。その小さな体とは対照的な存在感で、競泳、水球そしてコンパ、六甲祭にがんばって下さい。

小笠原朝隆；T38：背：彦根東高

AT車March，原付はHiと、いつもおしゃれな彼は浮いた話の手がかりをつかませない要領のいい人です。また、彼は新チームになった水球チームのスタメンの中では最も泳ぐのが速いためセンターボールをとりに行くポジションをするはめとなりました。そして競泳ではバック面の、いや競泳面の一つの大黒柱となるべき人なので、今年もやってくれるだろうという期待がかかっています。しかし、そんな期待をもとせず、ひょうひょうとマイペースな彼を我々は安心して見ていられるのです。

是枝 良文；S38（地球科学）：自長：鶴丸高

コンパの席で3回生E子さんと筆者を呼びよせ「7コースメンというのはなあ……」とつくづく話をして下さる彼は、自分に厳しい努力の先輩です。この事は勉学の面でも言える様です。そんな彼ですが、世間の「正進確実」の声をしり目に仮進になってしまいました。その時、周囲のみんなが自分の事の様に悲しんで目に涙をためていた事を忘れる事が出来ません。

田中 和彦；P38（心理）：自短：尼崎東高

立直一発うーんドラドラ、と常に叫んでいる彼に私共は失望のどん底にたたき込まれるのである。そんな彼だが、オリンピック種目にも加わった50 M Free Style に命をかけて、また他校からOver Diffence、Over Attackと恐れられてもゴールを死守してくれるものと信じてお

ります。

羽瀬 智文(副務外渉)；J38：自短：港高

彼は2回生で、幸せな人の1人です。普段の生活は少なぞめいています。でも、とても研究熱心で常に水泳の事を考えています。同じコースで泳いだ人や、一緒にマージャンをした人の話では、人の事を思いやり、わがままでなく、さっぱりした性格だそうです。いろんな意味で「市大戦に強い」という名言も残されています。

林 均；T38(化工)：平：膳所高

神大水泳部で、ボロのムナグラスと言えは彼の事です。車を買った彼はますますあちらの方にも余念がないようで夜になると常に車がないなど check manの指摘をうけているが、彼は否定しようともせずただニタニタと笑い、今一番の幸福者と呼ばれています。彼はもちろん練習にも余念が無く、次期水球主任の地位を確立したとも言えます。昼夜を問わず彼のますますの御盛栄をお祈りする次第です。

古谷 拓裕(副務会計)；B38(商)：自長：大田高

40円で2週間過ごした事もあるという氏はコンパですぐに酔いつぶれては「マグロ」とか「トド」とか言われ、つぶらな瞳をパチパチして寝てしまう。それに、どんなに頑張ってもバイトしてもサイフに穴があいているのでしょうか、全然お金がたまらないそうです。だが一方、近頃密かに小金を貯め込んでいるといううわさもある氏である。いいなあ。

村田 功(副務内渉)；B38(経営)：個：洛星高

あまりにも冷静。あまりにも的確。その一言爆弾に心に風穴をあけられ笑い者になってしまった者は多い。また要領のいい彼は出席しなければならない講義をかためて休日を増やしています。「どうして」と聞けば必ず「なんとなくやねえ」とおっしゃる彼はなぜか、非常に恐れられています。なんとなく。

枝沢百合子；P38(教育衛生)：自短：明石清水高

ハンパな人ではありません。男などものともしない筋肉、その天性の好奇心。理系にいてもおかしくない様な実験魔ぶりも有名です。今年、「パワー全開体育会女性版」で見せた「鼻じる」のギャグは多くの人の目を点にしました。そんな彼女ですが教養での姿は「はっ」とさせるもの

があります。今シーズンも女子面の上位者としてますます頑張っしてほしいものです。

堀八亜津子；P38（中学英語）：マネージャー；ブール学院高

スイミングに行けば、暑さにふらりとしてか間違っって男子更衣室へ入っって行ってしまいます。かと思えば、小笠原さんの名前に「あ、そらまめ君って人のことやね」と一言呟やいたり、おっとりしていながら、どこか奇妙なズレのある彼女の言動は何ともお茶目で微笑ましく、目が離せないのです。

（二回生）

井上 達晃；S39：背：六甲高

雑巾、毛布、ゴミ箱、乞食、と言われ放題、言われ続けた彼は、とてもかわいそうですがその青ヒゲ面を見て思わず納得してしまいます。また、彼ははっきり言って一本抜けています。サイフを無くしたり盗まれたり、挙動不審で捕まったり……。そして、H君程ではないにしろ、遅刻が多いのも隠せません。最後に六甲祭のパワー全開体育会で馬ふんを浴びながらも優勝したのは何をかくそう彼です。

笠田 幸介；J39：平：長崎青雲高

僕の名は「かしゅだこうすけ」何故かサ行の発音がうまく出来ないのです。そして時々方言が出てしまうため周囲の人々はとまどってしまいます。しかし、僕はさみしがり屋なのでバイクのうしろに誰かのせていないと気がすみません。そして、原田知世とお酒が大好きです。お酒を飲んでは変な奴になり、Happy になってしまいます。こんな僕ですが今年は水球のキーパーに、ブレーに、一層の努力をするつもりです。

柴田 英之；A39（農化）：自短：金蘭千里

俺の名は柴田英之。又の名をキラキラの柴田。そう、チアに「目がキラキラしてる！」って言われたからさ。うーん俺は不幸だぜ。ハチに足の裏を刺されたり、原チャリが故障したり。試合の後、ブールにはめられずにすんだと思ったら、ジャージだけはめられたり……。こんな俺でもサッカーのテクはプロ級さ。だって俺の高校にはサッカー部しかなかったんだから。そんなわけで、俺の性格はゆがんでるぜ。

田実 昌一；P39（体育）：自短：清水谷高

彼は一度部をやめました。しかし、シーズンがすっかり終わった一月に復活しためずらしい野郎です。そしてコンパでは酒の勢いで人をなぐったり、なぐられたりしてとってもおとなしい性格です。その後、駅のトイレに眠り込み記憶が消えてしまったことはここだけの話です。そんな彼も「マハラジャ」という言葉がよく似合うお茶目な顔をしています。

富麻 尚正；A39（農工）：蝶：畝傍高

彼は一見、中学生に見えます。いつも元気なので、かん高い大きな声で話題をふりまいてくれます。休日になると必ず畑仕事がある彼は、くわをかつぐ姿が絵になる農業工学科の2回生で、アルバイトもせず、親のすねをかじっているので人生に負けてしまうのではないかと考えているマヌケでトンマな野郎です。しかし高校時代、奈良県で船1のバタフライ泳者だった彼は郡氏が引退した今、神大のバツを小さな体に背負っています。今年は、故障せずに頑張ってくれるでしょう。

中川 篤俊；M39：自短：韭山高

彼の胃は酒が入ると、底無し沼と化します。彼のグラスにビールが入っているのを見た人はいません。つがれたら一瞬のうちに飲み干してしまうのです。でも将来、医者になったら真っ先に自分の肝臓を健康な人のと入れかえるからだいじょうぶ。そんな彼も今年は2回生の長老として頑張ってくれることでしょう。

東 圭紀；T39（建築）：個：桐蔭高

彼は遅刻の常習犯。練習や試合にいくら遅れて来ても「わりい！」の一言で片付けてしまう。そしてまた彼は、和歌山出身のためか極めて口が悪い。「おつかれ～」の言葉には、さすがのO先輩も、反す言葉が無かったのだった。一方「言語障害」とせめられショックを受けているという、うわさもある。こんな彼ではあるが、競泳の面においては誰にも文句を言わせない記録を持っていることを付けくさっておこう。

三宅 正樹；B39：自短：摂津高

彼女の目はあふない。長いまつ毛の下で、彼女のうるんだ目は、どこを見ているのか誰にもわかりません。高校（男子校）時代は、何人もの男をとりこにしてみました。でも、チアのYに、「あの子カマッぽくなぁい？」と言われたのを秘かに気にしています。そんな彼女でも、妙に女好きです。教養の食堂で一番派手な奴を見かけたら、彼女だと思って下さい。見た人はナンパし

ましよう。すぐついて来ます。

箕 朋子；J 39；背：豊橋南高

彼女の名は「かけびー」。昨年7月、体操部から水泳部へと華麗なる転身をとげた「かけびー」はわずか1ヶ月足らずで、すっかり水泳部員になってしまいました。そんな「かけびー」ですが誰かが風邪をひくとちゃんとお見舞いに行くやさしい女の子です。今年はおいしい家庭教師もみつかったし、あぶないバイトもやめ、まっとうな人生を歩んでくれることと思います。今シーズンの活躍を期待しています。

小島 未央；P 39（初等）；マネージャー：長田高

私は優秀なマネージャー。雨の日も風の日もちゃんとタイムをとるわ、ハードな夏を乗り切ったのよ。そしてコンパとなればビールを抱いて「これ私の！」と言ってみんなについてあげるの。茶道部もやっているからビールもグラスを3回まわしてから飲むことにしているの。私のチャーム・ポイントは目。「目がかわいい！」ってよく言われるんだから。

戸井 浩子；P 39（初等）；マネージャー：長田高

見上げれば戸井。彼女が神大水泳部マネージャーといひろこ嬢です。彼女は「夏嫌い、暑い嫌い、暑さに弱い」と3拍子そろっているにもかかわらず、どーゆーわけか水泳部所属です。そんな彼女の運命をかえたのは某氏の1本の電話なのでした。当時「会話」に飢えていた彼女はつつい長電話をしてしまい……。

この運命にも負けずにまっすぐに生きていって下さいね。

今シーズンも頼りにしてますよ。

昭和62年度活動報告

前年度、我々のたてた目標の多くは満足に達成されなかった。ここ数年の間に^福福の気持と無意味な余裕が少しずつ生まれてきていた結果だ、と考えるのは穿ち過ぎた判断であろうか。とにかく、なりふり構わずに食欲に勝ちにいく姿勢こそ、本年度必要なものと思われた。

それ故、十月の試験期間中もオフにせず自主トレを課した。また、OB金氏の御尽力で今年も神戸イトマンSSのプールを借して頂く事ができたので、試験明け早々泳ぎ始めた。陸上トレーニングも例年の習慣は捨ててオフは日曜のみとし、極端に負荷をかけたランニング、サーキットトレーニング、ウェイトトレーニングをこなしていった。

三月末からの春合宿は二年前と同じ大分県住吉浜で行われた。体調をくずす者が何人かでて、主将自ら風邪で倒れる不始末はあったものの、殆んど全員がメニューをこなし、ベストやそれに近いタイムをだす者まで現れ、それなりに手ごたえのある合宿となった。

四月いっぱい、専ら体力維持に主眼をおいたトレーニングを課した。また、この頃米国より田中克己コーチが帰国され、今年も面倒みて頂く事が出来る様になり、ボロにも心強い味方を得た。シーズンイン早々、水球主任有利の奔走により毎週の様にも他校と練習試合を行った。

冬の間には鍛えあげた隆々とした体をひっさげ、我々は暑い夏を迎えた。まず一勝、が目標である。

(甲野 記)

4月 上旬	春季合宿	大分・住吉浜
5月 9日	新入生歓迎コンパ	六甲台生協食堂
5月17日	凌泳総会	六甲台教官食堂
5月31日	京阪神三大学戦	同志社大学プール
6月 1日~5日	水球合宿	六甲台プール
6月6・7・13・14日	関西学生水球リーグ戦	大阪市大プール
6月28日	兵庫県学生選手権	西代プール
7月11・12日	関西国公立戦	京都大プール
7月14~17日	競泳合宿	六甲台プール
7月19日	旧三商大戦	一橋大プール
7月31~8月 2日	関西学生選手権	大阪プール
8月11・12日	全国国公立大会	大阪プール

8月24日	対大阪市立大戦	大阪市大プール
8月27・28日	近畿国立大学体育大会	京都大プール
9月5～8日	日本学生選手権	慶応日吉プール 明治神宮プール
9月11・12・13日	関西学生水球リーグJr.戦	大阪市大プール
9月20日	月見の宴	六甲台プール
11月7・8日	六甲祭	
12月5日	追い出しコンパ	六甲台生協食堂
1月10日	初泳ぎ	県立健康センター

京阪神三大学戦

まぶしい光、透き通る青い空……。こんな形容がよく似合う同志社大学のプールで試合は行われました。ここのプールは神大のプールとは比較にならないほど豪華でした。

初心者の僕にとっては、この日が初めてのレースでした。高まる胸の鼓動を抑えながらしばらく観戦しました。やがて、僕の泳ぐ順番になり、ますます緊張してきました。まずキャップをかぶり、丁寧にゴーグルをはめてスタート台に立ちました。自分の足が、少し震えているのを感じました。そのとき、僕はゴーグルがはずれないことだけを祈りました。ピストルが鳴りました。運よくゴーグルは、はずれなかったので、必死に泳ぎました。クイックターンも、無難にこなし最後は思いっきりタッチしました。

ほっとした気分で応援に参加し、充実感を満喫しました。ユニークな応援がとても印象的で、昨日のこのように憶えています。

勝負の結果は1位でした。こんなすごいクラブでやっていけるか心配でしたが、僕にとっては新鮮で、忘れることのできない1日でした。 (三宅 記)

☆京阪神三大学戦

5月31日 於 同志社大学プール(50m)

・100m 自由型

後呂	58-0	1位
奥村	1-01-9	2位
羽瀬	1-08-7	5位

・200m 背泳

小笠原	2-38-3	1位
竹本	2-42-8	2位
浅川	2-45-2	3位

・400m メドレーリレー

小笠原・林・当麻・奥村	
	4-33-6 1位

<ul style="list-style-type: none"> • 400 m自由型 村田 5-30-2 5位 坂田 5-44-3 6位 是枝 6-45-0 	<ul style="list-style-type: none"> • 200 m平泳 林 2-53-5 1位 有利 3-01-0 4位 守沖 3-05-8 5位 	<ul style="list-style-type: none"> • 800 mリレー 近藤・古谷・奥村・東 9-24-3 1位 									
<ul style="list-style-type: none"> • 800 m自由型 古谷 10-13-9 1位 近藤 10-24-2 3位 中塚 11-56-4 6位 	<ul style="list-style-type: none"> • 200 m個人メドレー 東 2-27-9 1位 小笠原 2-36-0 2位 有利 2-53-3 6位 										
<ul style="list-style-type: none"> • 200 mバタフライ 当麻 2-43-5 2位 郡 2-44-1 3位 岡崎 2-46-6 4位 	<ul style="list-style-type: none"> • 400 m個人メドレー 東 5-26-2 1位 岡崎 6-04-2 4位 当麻 6-06-1 6位 	<p style="text-align: center;">総合</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>神戸大</td> <td>108点</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>京都大</td> <td>66点</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>大阪大</td> <td>34点</td> </tr> </tbody> </table>	1位	神戸大	108点	2位	京都大	66点	3位	大阪大	34点
1位	神戸大	108点									
2位	京都大	66点									
3位	大阪大	34点									

“ああ 京大峠” …関ボロ悲願ならず

もちろん前年度の戦力と比べれば一目瞭然である。

しかし、新年度からは幸運にもアメリカから帰国した田中コーチを再び迎えることができ、毎週の練習試合、夏合宿を通じ、秘策ツーフローターを核とした我々のスタイルを少しずつ確立することができた。関学初参加で初の4日間開催の2日目、第一の関門、そして筑波出身の若吉、田中両コーチの激突(実際、田中コーチはこのゲームが1番熱かった。)である阪大戦は、4Qの初めに同点に追いつかれる接戦となったが、直後の林のミドルシュートが決定打となり、辛くも前年の雪辱を果たした。結果的には相手のオフenseの上をいくディフェンスをひいた作戦勝ちだったといえる。

そして最終日、プロモーションのお陰で援団、アメフトの面々が応援に駆けつけてくれ、王者京大と対決となった。1Qより落ち着きのなかった京大につけこみ、2-0とリード、一気に盛り上がったのだが2Q、6退水6失点。明らかに我々のうわついた結果で、これが最後まで響き、又も京大の峠は越えられなかった。ツーフローターもさすがに相手は、対応の術を心得ていた。

力負けとは思いたくない。しかし峠を越えるためには、まだまだ力が必要である。

(有利 記)

☆関西学生水球リーグ戦

6月6・7・13・14日 於 大阪市立大プール

神戸大	Q	関西学院大
10	1	3
6	2	1
10	3	2
8	4	0
34	計	6

1. 有利
2. 林 (8)
3. 郡 (1)
4. 徳永(5)
5. 守沖(2)
6. 岡崎(1)
7. 後呂(1)
8. 中塚(1)
9. 坂田(3)
10. 近藤(5)
11. 甲野(3)
12. 小笠原(3)
13. 奥村(1)

神戸大	Q	大阪大
3	1	1
0	2	1
2	3	2
4	4	3
9	計	6

1. 有利
2. 林 (3)
3. 郡 (1)
4. 徳永(2)
5. 守沖(1)
6. 岡崎
7. 後呂(2)
8. 中塚
9. 坂田
10. 近藤
11. 甲野
12. 小笠原
13. 奥村

神戸大	Q	大阪市立大
6	1	3
7	2	1
6	3	0
7	4	2
26	計	6

1. 田中
2. 林 (6)
3. 郡 (2)
4. 徳永(1)
5. 守沖(3)
6. 岡崎(5)
7. 後呂(3)
8. 小笠原(2)
9. 坂田(1)
10. 奥村(2)
11. 竹本
12. 村田(1)
13. 古谷

神戸大	Q	京都教育大
5	1	0
9	2	0
6	3	0
7	4	0
27	計	0

1. 有利
2. 林 (5)
3. 徳永(2)
4. 郡 (2)
5. 守沖(8)
6. 中塚(3)
7. 後呂(2)
8. 岡崎(2)
9. 甲野(1)
10. 近藤(1)
11. 是枝
12. 東 (1)
13. 田中

神戸大	Q	京都大
2	1	0
3	2	6
2	3	3
1	4	2
8	計	11

- | | | |
|----------|--------|---------|
| 1. 有利 | 6. 中塚 | 11. 甲野 |
| 2. 林 | 7. 後呂 | 12. 小笠原 |
| 3. 徳永(1) | 8. 岡崎 | 13. 奥村 |
| 4. 郡(2) | 9. 坂田 | |
| 5. 守沖(5) | 10. 近藤 | |

神戸大	Q	立命館大
5	1	1
6	2	4
1	3	1
1	4	3
13	計	9

- | | | |
|----------|-----------|--------|
| 1. 有利 | 6. 中塚(1) | 11. 竹本 |
| 2. 林(4) | 7. 岡崎 | 12. 村田 |
| 3. 徳永(4) | 8. 坂田 | 13. 田中 |
| 4. 郡 | 9. 小笠原 | |
| 5. 守沖(1) | 10. 奥村(2) | |

1位	京都大	6勝	5位	大阪市立大	2勝4敗
2位	神戸大	5勝1敗	6位	京都教育大	1勝5敗
3位	大阪大	4勝2敗	7位	関西学院大	6敗
4位	立命館大	3勝2敗			

快心の勝利・兵庫インカレ

今年の兵庫ICには大きな意味があった。年々レベルアップする他校に神大は取り残され、そろそろ見栄をはってはいけなところまで落ちてしまった。なりふり構わず全ての試合で勝ちにいかねばならない。捨てる試合をする余裕は無いのである(関学の皆さん、過去三年は捨てる試合だったのですよ)。戦前の予想では、相当苦しい試合になるはずだった。関学のみならず、甲南・商船大・商大に強力な新戦力の加入の噂も流れてきた。女子は今年も少人数で戦わねばならず、兵数に数で圧倒されている。ところがいざフタをあけてみると、それらは全て杞憂に終わった。神大スイマーは遅しかったのである。皆が自分のノルマの点を稼ぎだし、あるいは予想以上の点を取り、エントリーされなかった者もオープンで手ごたえのあるタイムを出した。何より、この試合では下級生の奮戦が目だった。一年生東・当麻は受験明けにもかかわらず良く頑張りを、ロング転向の古谷も敗れはしたものの好タイムをだした。個々村田は気合で高得点をたたきだし、小笠原も神大背泳健在を示した。皆がこの試合の意味と神大の状態をしっかりと認識し、全

員でもぎ取った勝利だった。女子もこの少人数での奮戦を土台に八月に偉業を成すのである。試合後のコンパで関学・甲南に「まいりました」と言わせてまわりうまい酒が飲めた。なお、この試合に最後まで私にハッパをかけて頂いたOB金氏に誌上をかりて御礼を申し上げます。

(甲野 記)

☆兵庫インカレ

6月28日 於 西代市民プール

[男子]

・100m自由型

奥村 1-01-0 2位
羽瀬 1-03-0
田中 1-06-4

・200m自由型

奥村 2-21-2 5位
坂田 2-25-6
中塚 2-29-7

・400m自由型

古谷 4-48-4 2位
近藤 4-56-3 4位
坂田 5-32-2

・1500m自由型

古谷 19-03-2 2位
近藤 19-39-3 3位
安井 21-53-8

・100mバタフライ

郡 1-05-4 2位
当麻 1-06-3 5位
甲野 1-16-8

・200mバタフライ

郡 2-30-5 1位
岡崎 2-38-5 5位
当麻 2-44-7 6位

・100m背泳

小笠原 1-08-3 1位
徳永 1-08-4 2位
浅川 1-12-5 4位

・200m背泳

小笠原 2-37-2 2位
徳永 2-38-9 3位
竹本 2-40-7 4位

・100m平泳

後呂 1-13-1 1位
林 1-15-7 3位
有利 1-22-9

・200m平泳

後呂 2-41-8 2位
林 2-48-3 4位
有利 2-58-9

・200m個人メドレー

東 2-25-6 ^{1位}
村田 2-37-7 ^{大会新} 3位
岡崎 2-39-5 5位

・400m個人メドレー

東 5-18-9 2位
村田 5-50-8 4位
是枝 7-35-2

・400mメドレーリレー

徳永、後呂、郡、奥村
4-25-6 2位

・800mリレー

古谷、近藤、東、奥村
9-16-0 3位

総合

1位	神戸大	117点
2位	関西学院大	85点
3位	甲南大	56点
4位	神戸商船大	26点
5位	神戸商科大	22点
6位	神戸外大	1点

〔女子〕

・200m自由型
枝 沢 3-07-2

・400m自由型
枝 沢 6-44-4

・200m個人メドレー
川 上 2-46-8 2位

・400m個人メドレー
川 上 6-05-2 4位

・100m背泳
村 上 1-20-3 4位
加 地 1-25-8

・400mメドレーリレー
加地、川上、村上、枝沢
5-49-4 3位

・400mリレー
川上、村上、加地、枝沢
5-03-7

・200m背泳
村 上 3-03-2 4位
加 地 3-05-7 4位

総合

1位	武庫川女大	170点
2位	兵庫教育大	30点
3位	神戸大	24点
4位	神戸外大	14点
5位	関西学院大	10点
6位	神戸商船大	9点

関西国公立戦

我々は、兵庫IC優勝の余勢をかって、意気揚々と府大Pへ臨んだ。打倒京大の旗印の下、初日を終って4点差。四混継、短距離レースを残してこの点差に大きな力を得た。二日目、“一点でも多く”の気持ちが空回りするのか、神大の得点は思うように伸びない。一度、逆点を果たしたもののFrショートで決定的な打撃をうけ、今年も打倒京大の夢はついでた。Frリレーにおける力不足、競りあった時の弱さと多くの課題を残した試合であった。女子の方もあいかわらずの少人数で苦戦を強いられている。和太、滋賀大といった大学の台頭もあり、レベルアップと同時に部員数確保が急務である。

(後呂 記)

〔男子〕

・100m自由型

奥村 予1-01-22
 銚1-02-00 8位
 坂田 1-03-63
 田中 1-07-42

・200m自由型

奥村 2-23-83
 坂田 2-25-70
 田中 2-40-26

・400m自由型

古谷 予5-05-14
 銚4-38-82 2位
 近藤 予5-00-76
 銚4-54-54 5位
 是枝 6-32-06

・1500m自由型

古谷 18-52-07
 近藤 19-20-12
 安井 21-22-16

・100mバタフライ

郡 予1-08-58
 銚1-05-64 3位
 当麻 予1-08-42
 銚1-06-11 4位
 甲野 1-17-56

・200mバタフライ

郡 予2-29-70
 銚2-28-0 2位
 当麻 予2-45-19
 銚2-40-5 (7位)
 岡崎 2-46-25

・100m背泳

徳永 予1-09-66
 銚1-08-45 2位
 小笠原 予1-10-18
 銚1-08-99 4位
 浅川 予1-13-08
 銚1-13-45 (9位)

・200m背泳

小笠原 予2-33-64
 銚2-29-5 2位
 徳永 予2-34-09
 銚2-29-7 3位
 竹本 予2-41-53
 銚2-42-9 (9位)

・100m平泳ぎ

後呂 予1-14-51
 銚1-12-53 2位
 林 予1-16-51
 銚1-16-64 (9位)
 植松 予1-12-09

・200m平泳ぎ

後呂 予2-45-94
 銚2-41-08 2位
 林 予2-48-81
 銚2-54-96 (9位)
 有利 2-53-33

・200m個人メドレー

東 予2-37-45
 銚2-24-58 2位
 村田 予2-38-94
 銚2-37-64 (9位)
 井上 2-47-9

・400m個人メドレー

東 予5-38-9
 銚5-18-05 2位
 村田 予5-54-4
 銚5-48-19 4位
 柴田 失格

・400mフリーリレー

予 徳永、東、郡、奥村
 4-07-12
 銚 奥村、東、郡、後呂
 4-01-3 4位

・400mメドレーリレー

(併) 小笠原、林、郡、奥村
4-32-3

(缺) 小笠原、後呂、郡、奥村
4-25-62 1位

・800mフリーリレー

(併) 近藤、古谷、東、郡
9-17-78

(併) 東、古谷、郡、後呂
9-03-67 3位

総合

1位	京都大	91点
2位	神戸大	83点
3位	大阪府立大	50点
4位	大阪大	37点
5位	神戸商船大	19点
6位	神戸商科大	17点

〔女子〕

・200m自由型

枝 沢 3-14-15

・400m自由型

川 上 (併) 5-34-91
(缺) 5-19-84 3位
枝 沢 6-47-21

・100m背泳

村 上 (併) 1-23-92
(缺) 1-20-43 1位

・200m背泳

村 上 (併) 2-58-70
(缺) 2-57-4 1位

・400m個人メドレー

川 上 6-00-52 2位

・200mリレー

(併) 村上、山口、枝沢、川上
2-12-90
(併) 村上、山口、枝沢、川上
2-11-9 3位

・400mリレー

(併) 村上、山口、枝沢、川上
5-11-13
(併) 山口、枝沢、村上、川上
5-04-61 4位

・400mメドレーリレー

(併) 村上、山口、川上、枝沢
5-55-93
(併) 村上、山口、川上、枝沢
5-48-0 5位

総合

1位	大阪教育大
2位	大阪大
3位	兵教大
4位	神戸大
5位	和歌山大
6位	滋賀大

小平は何故か雨だった

今年三商大戦を思い出の小平プールで迎えることとなった。例年なら快晴の下で行われるはずが、今回はあいにくの小雨模様だった。そんなうっとおしい天気を反映してか、残念ながら完全優勝を果たすことは出来なかった。競泳は関国の疲れもあっただろうが、まずまずの成績だった。しかし水球は去年と同様、延長戦の末、またしても一橋に敗れてしまった。3部とはいえ流石に関東

の水球は奥が深い様である。来シーズンの三商大戦は是非とも完全優勝を達成できるよう健闘してほしいと思う。

さて試合後のコンパであるが、今回はなかなかの盛り上がりを見せた。例のごとく、プールサイドにあるものは全て水面下に沈み、かってこれ程はまったであらうかと思わませほどだった。しかし一橋は対神大狂乱用にフェンスを堅固なものとしていたためにこれを破壊することはできなかった。さて、このまま怪我人もなく、その日は終ると誰もが思っていただろうが、それどころでは済まない事件が起こった(いや起こしたと言った方がいいかも知れない)。詳細はマネする者が出てくるといけないので伏せておくが、後に残った村田の焼けこげたバッグと、一橋の矢野君のガードマンにひたすら謝っている姿がその時の凄じさを物語っていた。(森田 記)

☆旧三商大戦

7月19日 於 一橋大プール

〔競泳〕

<ul style="list-style-type: none"> ・100m自由型 奥村 1-00-2 1位 東 1-01-4 2位 	<ul style="list-style-type: none"> ・200m背泳 徳永 2-42-8 1位 浅川 2-43-9 2位 	<ul style="list-style-type: none"> ・800mリレー 近藤、郡、古谷、東 9-4-2 1位
<ul style="list-style-type: none"> ・400m自由型 岡崎 5-09-7 2位 竹本 5-44-7 4位 	<ul style="list-style-type: none"> ・200m平泳ぎ 後呂 2-43-6 1位 林 3-11-7 4位 	<ul style="list-style-type: none"> ・400mメドレーリレー 小笠原、後呂、郡、奥村 4-33-26 1位
<ul style="list-style-type: none"> ・800m自由型 近藤 10-23-6 1位 安井 11-21-2 3位 	<ul style="list-style-type: none"> ・200m個人メドレー 古谷 2-34-0 1位 小笠原 2-43-7 2位 	
<ul style="list-style-type: none"> ・200mバタフライ 郡 2-33-6 1位 坂田 3-48-5 5位 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>総合</p> <p>1位 神戸大 87点</p> <p>2位 大阪市立大 54点</p> <p>3位 一橋大 42点</p> </div>

〔水球〕

神戸大	Q	大阪市立大
5	I	1
4	II	0
6	III	2
2	IV	1
17	計	4

- | | | |
|----------|------------|-----------|
| 1. 有利 | 6. 林 (3) | 11. 竹本 |
| 2. 郡 (2) | 7. 近藤 | 12. 森田(1) |
| 3. 徳永(3) | 8. 坂田 | 13. 田中(1) |
| 4. 中塚 | 9. 岡崎 | |
| 5. 守沖(6) | 10. 小笠原(1) | |

神戸大	Q	一橋大
2	I	2
2	II	3
2	III	2
2	IV	1
1	延長	3
1	長	0
10	計	11

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. 有利 | 6. 林 | 11. 岡崎 |
| 2. 郡 | 7. 後呂(4) | 12. 小笠原 |
| 3. 徳永(3) | 8. 近藤(1) | 13. 奥村 |
| 4. 中塚 | 9. 坂田 | |
| 5. 守沖(2) | 10. 甲野 | |

1位	一橋大	2勝
2位	神戸大	1勝1敗
3位	大阪市立大	2敗

関西インカレ あさきゆめみし梅田の夜

シーン 1：梅地下うつのみや

私は疲れていた

向かいに座っているまねーじゃず(彼女達は自分達の事をそう呼んでいる)などは、疲労を通り越して、無我の境地に入ったようだ。3人ともぼーっとしている。一瞬私は自分の空想の世界へと入ってしまった。

シーン 2：昭和63年夏大阪プール800 m継泳スタート

関大との差は1点。これで1位を取らなければ優勝は、ない。第1泳者の富麻は関大と体1つ差をつけられてきた。古谷、東が徐々に追付いて、第3泳者、東は体半分抜けてきた。どうやら関大は先行逃げきりできたようだ。ラッキー。東が中途半端なタッチをした。フライングかな、と一瞬頭をよぎる。2分10秒後タッチボードを触る。横の関大は、見えない。やった、優勝だ。ベンチ

の歓声が、チアホーンが耳の中でわんわん鳴っている……

シーン 3:再び梅地下うつのみや

我にかえると、うるさい滋賀大がチアホーンをわんわん鳴らしてさわいでいる。うるさいやつらだ。どうやら、今日のコンパは、湿っぽくなりそうだ。(奥村 記)

☆関西学生選手権水泳競技大会 7月31日、8月1、2日 於 大阪プール

[男子]

・100m自由型

奥村 1-00-08
羽瀬 1-04-22
田中 1-08-38

・200m自由型

奥村 2-16-94
坂田 2-23-23
是枝 2-52-69

・400m自由型

古谷 4-45-8
近藤 4-57-54

・1500m自由型

古谷 18-43-58
近藤 19-30-83

・100mバタフライ

郡 1-05-76
当麻 1-07-2
甲野 1-19-46

・200mバタフライ

郡 2-26-19
当麻 2-33-46
岡崎 2-42-51

・100m背泳

小笠原(伊) 1-08-08
快 1-08-42 (9位)
徳永 1-08-95
浅川 1-11-92

・200m背泳

小笠原(伊) 2-32-26
快 2-29-32 (7位)
竹本(伊) 2-43-28
快 2-40-69
井上 2-43-37

・100m平泳ぎ

後呂(伊) 1-11-47
快 1-11-28 (9位)
林 1-15-4
守沖 1-21-17

・200m平泳ぎ

林 2-48-98
植松 2-55-58
笠田 3-03-48

・200m個人メドレー

東 2-27-00
村田 2-36-34
黒田 3-02-06

・400m個人メドレー

東 5-17-9
村田 5-46-9
岡崎 5-51-0

・400mリレー

奥村、郡、東、後呂
3-57-43 (7位)

・800mリレー

後呂、郡、古谷、東
8-56-76 (8位)

・400mメドレーリレー

小笠原、後呂、郡、奥村
4-22-15 5位

総合(男子1部)

1位	同志社大	151点
2位	近畿大	77点
3位	天理大	47点
4位	大阪体育大	39点
5位	京都大	5点
	関西学院大	5点
7位	関西大	4点
8位	神戸大	2点

〔女子〕

・100m自由型
枝 沢 1-22-58

・200m背泳
村 上 伊 2-57-47
伊 2-52-13 6位

・200m個人メドレー
川 上 伊 2-54-69
伊 2-46-18 (8位)

・400m個人メドレー
川 上 5-58-56 (8位)

・200m自由型
枝 沢 3-10-44

・200mリレー
村上、川上、加地、枝沢
2-11-9 5位

・400mリレー
村上、川上、加地、枝沢
4-59-99 4位

・400mメドレーリレー
村上、枝沢、川上、加地
5-52-6

・100m背泳

村 上 伊 1-20-31
伊 1-19-25 6位

総合(女子1部)

1位	天理大	140点
2位	武庫川女大	133点
3位	大阪体育大	28点
4位	大阪教育大	15点
5位	神戸大	7点
6位	兵庫教育大	5点

全国国公立戦

昨年惨敗を喫した神戸大学水泳部はなんとしてでも団体6位以内に入賞を、最低でも男女とも10位以内にくいこむべく、関西インカレでの悔しさを胸に大阪プールへと乗込んだ。

1日目、5名の決勝進出者を出しながら、得点は東の3点のみであったが、4つの神大新と、メドレーリレー予選の好記録に翌日の追い上げを期待した。

2日目、1番に行われた男子メドレーリレー決勝で失格の不覚をとり、大きな得点のチャンスを逃してしまった。そしてリレーの決勝を待たずして私達の全国国公立は幕を閉じたのだった。

内容は決して悪いものではなかったが、負けは負けである。急速にレベルアップしている他校に我々は取り残されそうになっている。このままでは団体出場も楽にはできなくなるだろう。来シーズンこそは全国にふたたび神戸の名を知らしめるべく努力しなければならない。

(竹本 記)

〔男子〕

・100m自由型

奥村 59-9
羽瀬 1-05-0
田中 1-10-1

・200m自由型

坂田 2-24-7
是枝 2-48-5
森田 2-55-6

・400m自由型

古谷 併 4-39-8
鉄 4-41-2 (8位)
近藤 4-54-1
金沢 4-13-3

・1500m自由型

古谷 18-36-0 (7位)
近藤 19-29-7
安井 21-55-2

・100mバタフライ

郡 1-05-5
当麻 1-06-4
甲野 1-17-9

・200mバタフライ

郡 2-26-5
当麻 2-30-3
岡崎 2-39-8

・100m背泳

小笠原 併 1-07-8
鉄 1-07-4 (7位)
徳永 1-08-3
井上 1-12-6

・200m背泳

小笠原 併 2-27-4
鉄 2-26-5 (8位)
浅川 2-39-2
竹本 2-46-6

・100m平泳ぎ

後呂 併 1-11-7
鉄 1-11-8 (8位)
林 1-16-4
守沖 1-20-1

・200m平泳ぎ

後呂 併 2-39-4
鉄 2-38-1 (7位)
植松 2-55-7
笠田 3-04-4

・200m個人メドレー

東 併 2-26-9
鉄 2-23-5 4位
村田 2-34-6
黒田 2-58-4

・400m個人メドレー

東 併 5-14-9
鉄 5-09-4 4位
柴田 7-15-2
三宅 8-38-6

・400mリレー

奥村、郡、東、後呂
3-58-7

・800mリレー

東、郡、古谷、後呂
8-56-8

・400mメドレーリレー

併 小笠原、後呂、郡、奥村
4-23-0
併 小笠原、後呂、郡、奥村
失格

総合

1位	筑波大	121点
2位	鹿屋体大	53点
3位	京都大	18点
4位	金沢大	17点
5位	新潟大	14点
	九州大	14点
	鹿児島大	14点
⋮		
⋮		
12位	神戸大	6点

〔女子〕

・100 m自由型

枝 沢 1-22-5

・200 m自由型

枝 沢 3-04-9

・100 m背泳

村 上 (予) 1-19-6

鉄 1-18-1 (4位)

加 地 1-26-6

・200 m背泳

村 上 (予) 2-55-9

鉄 2-55-9 (8位)

加 地 3-07-8

・200 m個人メドレー

川 上 (予) 2-47-8

鉄 2-48-8 (8位)

・400 m個人メドレー

川 上 (予) 5-39-4

鉄 5-55-7

・200 mリレー

村上、川上、加地、枝沢

2-12-0

・400 mリレー

枝沢、加地、村上、川上

5-07-5

・400 mメドレーリレー

加地、村上、川上、枝沢

5-55-8

総合

1位	筑波大	130点
2位	鹿屋体大	58点
3位	東京学芸大	27点
4位	福岡教育大	19点
5位	京都大	14点
6位	広島大	13点
.....		
12位	神戸大	3点

市 大 戦

我が神大水泳部の面々は市大戦という歴史ある対抗戦のために苦しい練習に耐え最高のコンディション作りにはげんだ。市大戦における我々の目標は“完全優勝”であった。つまり競泳において全種に優勝し、そしてボロにおいて市大を0点お抑えることである。

さて、実際試合は神大が一方向的にリードした。競泳は目標を達成し、ボロは大差で勝ってしまった。市大の面々は神大の勢いに恐怖し、おののいた。ほとんど神大独り舞台であった。

コンバにおいても市大は神大を制することが出来ず市大のプールは大きな損害をこうむった。まさに“Perfect Game”であった。

(井上 記)

☆対大阪市立大定期戦

8月24日

於 大阪市立大学プール

[競泳]

・100m自由型

奥村 1-02-1
羽瀬 1-03-3
田中 1-09-2

・400m自由型

川上 5-17-5
羽瀬 5-32-6
奥村 5-43-6

・800m自由型

古谷 9-59-5
小笠原 11-18-5
是枝 12-28-0

・200mバタフライ

岡崎 2-38-4
村田 2-52-3
守沖 3-31-2

・200m背泳

竹本 2-47-4
浅川 2-41-6
井上 2-40-7

・200m平泳ぎ

林 2-50-4
植松 2-58-7
笠田 3-01-4

・200m個人メドレー

東 2-32-1
岡崎 2-51-8
井上 2-55-1

・400mメドレーリレー

浅川、林、東、奥村
4-48-5

・800mリレー

岡崎、古谷、東、奥村
9-29-3

総合

1位	神戸大	115点
2位	大阪市立大	64点

[水球]

神戸大	Q	大阪市立大
6	1	0
2	2	0
4	3	3
2	4	0
14	計	3

- | | | |
|-----------|----------|-------|
| 1. 田中 | 7. 奥村(3) | 13. 東 |
| 2. 坂田 | 8. 竹本 | |
| 3. 林(4) | 9. 村田 | |
| 4. 岡崎(2) | 10. 植松 | |
| 5. 小笠原(1) | 11. 古谷 | |
| 6. 守沖(4) | 12. 是枝 | |

近 国 体

今年は、昨年の大雨とは打って変わって、穏やかな晴天の中、試合の幕が上がった。

第一日目、神大男子は、前半、400混継、800自由、400個と連続1位を独占し、昨年度優勝の京大に10点以上の差をつけて快調とも言うべき滑り出しであったが、それも束の間、後半、200自由で点が得られなかったことや、これまでの神大の大量得点の源の一つであった100平でもほとんど点を可算することができなかつたことなどから、あっという間に京大に逆転され、1点を追いかちで一日目は終わった。

第二日目、神大は、一日目と同じように400自由、200個で連続1位をとって、すんなり巻き返したものの、またもや後半、京大を始めとする他大学の自由形のレベルに今一步及ばず、800継という神大の弱点も突かれ、結局、当初とは逆に、京大に10点の差をつけられて、惜しくも総合2位に終わった。

一方、女子は、部員数のハンディを背負いながらも一日目から、こつこつと地道に得点を重ね、大教、兵教に次いで総合3位と健闘ぶりが窺えた。中でも、200自由決勝のゴール直前でのデッドヒートや、200継決勝など、女の熾烈な争いが印象に残っている。

今回の大会では、神大水泳部の当面の課題とも言うべく「自由形強化」というものを改めて認識させられた試合であったように思われる。また、本大会は各大学のエース格の選手達が引退した後であり、各種目の上位入賞者の顔触れも変わり、新旧交代の大会であったとも言えるのではないだろうか。

(岡崎 記)

☆近畿地区国立大学体育大会

8月27、28日

於 京都大学プール

〔男子〕

・100m自由型

奥村 併 1-00-5

銚 1-00-6 6位

羽瀬 1-03-3

田中 1-09-6

・200mバタフライ

当麻 併 2-40-7

銚 2-33-5 2位

岡崎 併 2-43-7

銚 2-35-6 3位

白石 4-34-5

・200m平泳ぎ

林 併 2-49-4

銚 2-48-7 4位

笠田 3-00-9

植松 3-01-6

・200m自由型

奥村 併 2-21-2
 併 2-28-6 6位
羽瀬 2-22-7
田中 2-40-8

・400m自由型

古谷 併 5-05-5
 併 4-46-2 1位
井上 5-20-1
是枝 5-57-5

・800m自由型

古谷 併 10-13-5
 併 9-47-7 1位
是枝 12-22-8

・100mバタフライ

当麻 併 1-08-3
 併 1-06-1 4位
岡崎 併 1-09-1
 併 1-08-8 5位
平井 1-30-0

・400mメドレーリレー

併 小笠原、林、当麻、古谷
 4-38-7
併 小笠原、林、東、奥村
 4-25-2 1位

・100m背泳

小笠原 併 1-11-9
 併 1-07-9 2位
井上 併 1-11-4
 併 1-10-4 4位
浅川 併 1-12-4
 併 1-11-2 6位

・200m背泳

小笠原 併 2-40-2
 併 2-29-7 2位
浅川 併 2-42-9
 併 2-37-6 4位
竹本 併 2-44-0
 併 2-41-4 6位

・100m平泳ぎ

林 併 1-16-1
 併 1-15-9 6位
守沖 1-21-6
植松 1-23-3

・800mリレー

併 羽瀬、古谷、当麻、小笠原
 9-29-2
併 古谷、東、奥村、小笠原
 9-15-4 4位

・200m個人メドレー

東 併 2-32-8
 併 2-27-5 1位
村田 併 2-38-4
 併 2-35-8 4位
金沢 3-39-9

・400m個人メドレー

東 併 5-31-7
 併 5-12-1 1位
村田 併 5-49-9
 併 5-43-1 5位

・200mリレー

併 奥村、東、当麻、小笠原
 1-48-7
併 奥村、東、当麻、小笠原
 1-46-8 3位

総合

1位	京都大	94点
2位	神戸大	84点
3位	大阪大	52点
4位	神戸商船大	31点
5位	滋賀大	25点
6位	大教大	13点

〔女子〕

<ul style="list-style-type: none"> ・200m自由型 川上 併 2-36-6 関 2-26-4 2位 ・400m自由型 枝沢 6-49-2 ・100m背泳 村上 併 1-21-7 関 1-18-1 1位 ・200m背泳 村上 併 3-05-9 関 2-50-5 1位 	<ul style="list-style-type: none"> ・100m平泳ぎ 枝沢 1-51-0 ・200m個人メドレー 川上 併 2-46-8 関 2-51-6 2位 ・200mリレー 併川上、村上、加地、枝沢 2-16-8 関村上、川上、加地、枝沢 2-14-0 3位 ・400mメドレーリレー 併村上、枝沢、川上、加地 6-03-6 関村上、川上、加地、枝沢 6-00-2 5位 	<ul style="list-style-type: none"> ・400mリレー 併村上、川上、加地、枝沢 5-19-3 関枝沢、加地、川上、村上 5-02-1 4位
--	---	---

総合		
1位	大教大	48点
2位	兵教大	43点
3位	神戸大	33点
4位	滋賀大	33点
5位	京都大	32点
6位	和歌山大	24点

インカレ

今年は、幸運(?)にも全国インカレに初めて団体出場をすることになった。このような大きな舞台に、チームとして参加することができ夢のようであった。しかし、出場できるレースは多かったにもかかわらず、満足のいくタイムを出すことができなかったことは悔いの残るところである。舞台の大きさ、レベルの高さに比べあまりにも小さな自分達を実感するものであったが、来年もう一度チャンスを勝ちとるべくがんばってほしいと思う。

最後に、団体出場にあたり、ご援助をいただいたOBの方々、奮闘してくれた副務の奥村君、水球終了後も残ってマネージャーをしてくれた1回生、応援に来て下さったの方々、ありがとうございました。あまり期待に添えず申し訳ありません。
(加地 記)

インカレ体験記

1987年度の全国学生選手権は9月5日から4日間の予定で神宮プールを中心に行なわれた。男子水球チームは、4回生の主力メンバーが引退し、2・3回生を中心とした新チームの、初

初めての公式戦という事に加え、水泳部史上初のインカレ団体出場という偉業にも刺激され、練習にもおのずと力が入っていた。

最初、このようなメンバーで本当に大丈夫かな？と危ぶまれましたが、田中コーチや原田さんの連日の熱心な御指導により、日がたつにつれ、これまでになくチームワークのとれたまとまったチームへと成長していった。また公式戦に備え、3日前から東京入りし、上尾就明高校や武蔵高校などと練習試合をし、実戦力をつけた。

さて試合当日は雨、9月初旬にしては肌寒い一日だった。敵は慶応、相手にとって不足はない。「4Q戦うぞ！」という田中コーチの声に励まされ、一勢に水に飛び込んだ。

しかし、周囲の期待と我々の意気込みに反し、結果は3Qコールド負け、あまりにもみじめだった。悔しくもあり、情けなくもあったが、それよりも一生懸命御指導して下さいました田中コーチや原田さんに申し訳ない気持ちでいっばいだった。それにインカレ基金、水球基金を送って下さった大勢の先輩方に何と云っていいのかわからなかった。

関西で水球をやっている限り、インカレ1回戦突破は無理なのだろうか？ 関東と関西では、それ程までにレベルの差があるものなのだろうか？ 答は“No”だと思う。1・2・3回生のみんなは、この試合で感じた屈辱を忘れずに、日頃の水球に対する考え方や練習に取り組む姿勢をもう一度考え直してみよう。そして次回はぜひ1回戦に勝って、リーグ戦に参加していただきたい。

最後に、不器用な我々を毎日真剣に御指導下さった田中コーチ、本当にありがとうございました。もっと神大に残っていただきたかったです。それから、水球基金、インカレ基金に御寄付下さった大勢の先輩方、プールまで応援に来て下さった太田久美子先輩、最後までしつこく残っている一部4回生を暖かく迎えてくれ、共に練習させてくれた後輩達に、この場をお借りしてお礼を述べたいと思います。みなさん御寄付、御声援ならびに御協力本当にどうもありがとうございました。

(坂田 記)

☆日本学生選手権

9月5～8日

於 神宮プール・慶応日吉プール

[競泳]

(女子)

・100m自由型

枝 沢 1-21-6

・200m自由型

枝 沢 3-06-2

・200m背泳

村 上 2-54-9

加 地 3-13-2

・100m背泳

村 上 1-18-4

加 地 1-28-3

・200m個人メドレー

川 上 2-46-6

・400m個人メドレー

川 上 6-00-2

・200mリレー

村上、川上、加地、枝沢

2-11-8

・400m継泳

村上、川上、加地、枝沢

5-03-7

・400mメドレーリレー

村上、枝沢、川上、加地

5-49-2

〔水球〕

神戸大	Q	慶応大
1	1	7
0	2	7
0	3	2
1	計	16

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 1. 田中 | 6. 岡崎 | 11. 植松 |
| 2. 坂田 | 7. 小笠原 | 12. 古谷 |
| 3. 甲野 | 8. 近藤 | 13. 是枝 |
| 4. 守沖 | 9. 村田 | |
| 5. 林 | 10. 奥村 | |

関ポロ Jr.

主力の四回生が抜けての初めてのリーグ戦。今年から関学、名大を加え大会は盛り上がったが、神大は今度も涙をのんだ。予戦リーグでは順調に勝ち残ったが、続く決勝リーグでは、阪大にも京大にも少差で負けてしまった。阪大戦では、3Qめ、「これから反撃だ」という矢先に守沖が永退し、京大戦では、取って取られてのシーソーゲームで、共にギブアップしたのはうちだった。三つ巴でどこが勝ってもおかしくないと言われていたが、やはり神大は負けるべくして負けたのだろう。泳力、個人技、チーム力、どれをとっても見劣りがした。しかし、メインの試合は来年の関ポロだ。新チームは充分期待できる。次号の夜泳には「関ポロ制覇」と書きたいものだ。

最後になりましたが、コーチの田中さん、原田さん一年間本当に有難うございました。誌面を借りて御礼申し上げます。

(守沖 記)

(予選リーグ)

9月11、12、13日 於 大阪市立大学プール

神戸大学 vs 名古屋大学

神戸	名古屋
2	1
5	0
3	1
5	2
15	4

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 田中 | 6. 小笠原 (1) | 11. 東 (1) |
| 2. 守沖 (2) | 7. 村田 (3) | 12. 富麻 |
| 3. 奥村 (1) | 8. 古谷 | 13. 笠田 |
| 4. 林 (4) | 9. 羽瀬 | |
| 5. 岡崎 (3) | 10. 黒田 | |

対 関西学院大

神戸	関学
6	0
5	1
7	1
5	0
23	2

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 田中 (1) | 6. 金沢 | 11. 笠田 |
| 2. 守沖 (5) | 7. 村田 (4) | 12. 小笠原 (1) |
| 3. 井上 (1) | 8. 岡崎 (4) | 13. 林 (6) |
| 4. 竹本 (1) | 9. 是枝 | |
| 5. 奥村 | 10. 植松 | |

対 大阪市立大

神 戸	大 阪 市 立
4	2
5	1
2	0
2	1
13	4

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 田 中 | 6. 三 宅 | 11. 黒 田 |
| 2. 守 沖 (5) | 7. 村 田 (2) | 12. 小笠原 (2) |
| 3. 柴 田 | 8. 岡 崎 (2) | 13. 林 (2) |
| 4. 竹 本 | 9. 古 谷 | |
| 5. 奥 村 | 10. 羽 瀬 | |

神大、京大、阪大、大市大は決勝リーグへ進出、また立命大、京教大、名古屋大、関学大は5～8位リーグへ。

〔決勝リーグ〕

対 大阪大学

神 戸	大 阪 大
0	0
0	4
2	0
1	2
3	6

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1. 田 中 | 6. 奥 村 | 11. 黒 田 |
| 2. 守 沖 (1) | 7. 岡 崎 (1) | 12. 小笠原 |
| 3. 古 谷 | 8. 村 田 (1) | 13. 林 |
| 4. 東 | 9. 植 松 | |
| 5. 竹 本 | 10. 羽 瀬 | |

対 京都大学

神 戸	京 都
2	4
1	1
0	0
2	1
5	6

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1. 田 中 | 6. 奥 村 | 11. 黒 田 |
| 2. 守 沖 (1) | 7. 岡 崎 (1) | 12. 小笠原 (1) |
| 3. 古 谷 | 8. 村 田 | 13. 林 (2) |
| 4. 東 | 9. 植 松 | |
| 5. 竹 本 | 10. 羽 瀬 | |

1位	京都大	5位	立命館大
2位	大阪大	6位	名古屋大
3位	神戸大	7位	京都教育大
4位	大阪市立大	8位	関西学院大

現役自己ベスト一覧表

	自 由 型					バタ
	100 m	200 m	400 m	800 m	1500 m	100 m
男子の部						
植松 忠志			6-30-0	13-23-7		
奥村 直樹	59-2	2-14-3	5-41-8			
黒田 茂	1-12-0	2-58-4				1-38-4
竹本 和広						1-19-7
守沖 敦	1-05-7	2-31-4	6-21-9			
浅川 明弘						
岡崎 憲之						1-08-8
小笠原 朝隆	1-02-5	2-18-7	5-18-3	11-18-5		
是枝 良文	1-14-9	2-48-0	5-57-9	12-22-0		
田中和 彦	1-03-6		6-40-9	13-39-7		
羽瀬 智文	1-03-3	2-22-7	5-32-5			
林 均	1-03-5	2-25-6				
古谷 拓裕	1-01-9	2-10-7	4-38-8	9-47-7	18-36-1	1-07-6
村田 功	1-03-1		5-29-5			1-09-6
井上 達晃						
笠田 幸介				13-19-3		
柴田 英之	1-14-5	2-52-3	6-38-1	12-11-6		1-41-6
当麻 尚正		2-18-4				1-06-1
中川 篤俊	1-19-5					
東 圭紀	59-9	2-10-9				1-06-2
三宅 正樹	1-20-7					
女子の部						
川上 景子	1-07-9	2-26-4	5-15-2	10-48-5		1-20-9
村上 美和	1-10-7					1-37-4
枝沢 百合子	1-21-5	3-04-9	6-44-4			
寛 朋子						

フライ	背 泳		平 泳		個人メドレー	
	100 m	200 m	100 m	200 m	200 m	400 m
200 m			1-21-4	2-54-0		
	1-20-3				2-58-4	
	1-30-7					
3-21-2	1-14-5	2-40-2	1-38-7			6-26-0
3-47-6			1-19-5	3-01-8	3-01-0	6-35-4
	1-10-3	2-36-8				
2-34-0					2-39-6	5-43-8
	1-07-4	2-26-5	1-26-7		2-36-0	6-00-4
				3-24-0	3-39-2	8-07-1
				3-21-2	3-13-4	7-39-1
	1-35-7		1-34-2			
3-30-2		3-32-7	1-12-9	2-44-6	2-47-3	
2-39-0		2-40-7			2-33-2	5-25-3
2-52-3	1-21-8	2-53-6		2-59-0	2-34-4	5-43-1
	1-10-4	2-35-5				
			1-20-4	3-00-9		
			1-38-6	3-29-6	3-19-1	7-14-5
2-30-3						
	1-39-6		1-41-1		2-23-4	5-09-6
				4-10-4	3-53-8	8-38-5
3-00-7			1-32-3	3-06-4	2-45-5	5-53-0
	1-16-8	2-49-3		3-43-0	2-54-8	6-35-2
			1-52-7			
		3-26-6			3-35-2	

歴代 10 傑表 (男子の部)

○ 100m自由型

1	後呂 忠詳	56-7(S)	S. 61
2	川原田 貢	58-0(L)	62
		57-1(S)	57
3	金 一波	57-3(L)	59
		58-6(S)	56
4	浜川 広海	58-9(L)	57
		58-8	26
6	吉田不二彦	58-8(S)	53
		58-9(S)	59
7	奥村 直樹	59-8(L)	59
		59-2(L)	61
9	東 圭紀	59-2(S)	62
		59-7(L)	62
10	郡 幸雄	59-9(S)	62
		59-9(S)	61

○ 400m自由型

1	久保田勝己	4-37-4(L)	S. 58
2	古谷 拓裕	4-38-8(L)	62
3	川原田 貢	4-46-9(S)	57
4	近藤 直明	4-49-7(S)	62
		4-54-0(L)	61
5	浦野 敏明	4-53-1(S)	59
		5-00-9(L)	58
6	中川 善雄	4-54-0(L)	60
7	上田 剛弘	4-54-3(S)	55
		5-02-8(L)	55
8	山本 隆	4-55-1(L)	53
9	杉山 和広	4-55-2(S)	52
10	金 一波	4-57-0(S)	56

○ 200m自由型

1	川原田 貢	2-07-5(L)	S. 59
2	久保田勝己	2-08-5(S)	58
3	浜川 広海	2-09-0	26
4	後呂 忠詳	2-10-2(S)	62
5	古谷 拓裕	2-10-7(S)	62
		2-10-9(S)	62
6	東 圭紀	2-11-4(L)	62
		2-12-4(S)	62
7	郡 幸雄	2-12-4(S)	62
8	金 一波	2-13-8(S)	57
		2-16-5(L)	56
9	杉山 和広	2-14-0(S)	52
10	奥村 直樹	2-14-3(S)	62
		2-16-9(L)	62

○ 800m自由型

1	久保田勝己	9-47-4(S)	S. 56
2	古谷 拓裕	9-49-0(L)	57
		9-47-7(L)	62
3	近藤 直明	10-11-7(L)	60
4	中川 善雄	10-19-2(S)	60
		10-25-0(L)	60
5	山本 隆	10-22-1(S)	53
6	上田 剛弘	10-26-4(S)	51
7	浦野 敏明	10-33-2(L)	57
8	丸末 一之	10-36-3	51
9	松野 圭信	10-38-0(L)	57
10	酒井 康司	10-40-5(S)	55

○ 1500m自由型

1	古谷 拓裕	18-36-0(L)	S.62
2	久保田勝己	18-37-5(L)	58
3	近藤 直明	19-20-1(L)	62
4	中川 善雄	20-07-0(L)	60
5	浦野 敏明	20-08-3(L)	57
6	松野 圭悟	20-31-4(L)	57
7	上田 剛弘	20-40-0(L)	55
8	酒井 康司	20-55-0(L)	55
9	安井 啓史	21-27-8(L)	61
10	坂田 亨	21-36-7(L)	60

○ 100mバタフライ

1	吉岡 宏之	1-04-0(L)	S.58
	坂田 純孝	1-04-0(L)	59
3	佐敷 定雄	1-04-8(L)	48
4	郡 幸雄	1-05-0(L)	60
5	富麻 尚正	1-06-1(L)	62
6	東 圭紀	1-06-5(S)	62
7	山本 隆	1-07-4(S)	54
		1-08-4(L)	53
8	古谷 拓裕	1-07-6(S)	62
9	浦野 敏明	1-08-5(S)	58
10	岡崎 憲之	1-08-8(L)	62

○ 200mバタフライ

1	郡 幸雄	2-24-6(L)	S.60
2	坂田 純孝	2-26-6(L)	59
3	佐敷 定雄	2-29-6	48
4	富麻 尚正	2-30-3(L)	62
5	吉岡 宏之	2-34-0(S)	57
		2-35-9(L)	58
6	岡崎 憲之	2-34-6(L)	62
7	山本 隆	2-35-2(S)	53
		2-36-9(L)	53
8	浦野 敏明	2-35-6(L)	56
	久保田勝己	2-35-6(S)	55
10	古谷 拓裕	2-39-0(S)	61

○ 100m背泳

1	徳永 守	1-06-2(S)	S.62
		1-07-9(L)	60
2	小笠原朝隆	1-07-4(L)	62
3	杉山 和弘	1-07-7(S)	53
		1-08-4(L)	53
4	吉田不二彦	1-08-6(L)	59
5	坂田 純孝	1-08-7(S)	58
6	川原田 貢	1-09-6(S)	59
7	浅川 明弘	1-10-3(S)	62
		1-11- (L)	
8	井上 達晃	1-10-4(L)	62
9	太田 雅彦	1-10-9(S)	56
10	田淵 五郎	1-11-8(S)	27

○ 200m背泳

1	小笠原朝隆	2-26-5(L)	S.62
2	徳永 守	2-29-7(L)	60
3	坂田 純孝	2-30-4(S)	56
4	吉田不二彦	2-31-2(S)	58
5	杉山 和弘	2-34-1(S)	54
		2-34-2(L)	53
6	木村多加緒	2-34-8(S)	43
		2-37-0(L)	43
7	酒井 正人	2-35-2(S)	52
8	井上 達晃	2-35-5(L)	62
9	浅川 明弘	2-36-8(L)	62
10	竹本 和広	2-40-2(L)	62

○ 100m平

1	後呂 忠詳	1-10-5(L)	S.61
2	林 均	1-12-9(S)	62
		1-15-3(L)	62
3	長崎 真人	1-13-6(S)	57
		1-14-0(L)	58
4	鈴木 俊彦	1-14-2(S)	42
		1-14-7(L)	42
5	慈幸 弘樹	1-15-3(S)	53
		1-16-8(L)	53
6	浦野 敏明	1-15-6(S)	58
7	池辺 正雄	1-16-5(L)	56
8	山野 和則	1-17-1(S)	55
		1-17-2(L)	57
9	富岡 洋三	1-17-4(S)	55
		1-18-5(L)	53
10	平石 康	1-17-4(S)	51
		1-19-1(L)	52

○ 200m個人メドレー

1	東 圭紀	2-23-4(L)	S.62
2	浦野 敏明	2-29-5(L)	59
3	後呂 忠詳	2-31-0(L)	60
4	原田久富美	2-32-7(L)	60
5	慈幸 弘樹	2-33-0(S)	52
		2-35-6(L)	53
6	古谷 拓裕	2-33-2(L)	61
7	坂田 純孝	2-34-0(L)	58
8	富岡 洋三	2-34-2(S)	56
		2-35-2(L)	55
9	村田 功	2-34-4(L)	62
10	吉岡 宏之	2-34-9(S)	57
		2-36-7(L)	55

○ 200m平

1	後呂 忠詳	2-37-9(L)	S.60
2	長崎 真人	2-40-5(L)	58
3	林 均	2-44-6(S)	62
		2-48-3(L)	62
4	平石 康	2-45-3(S)	52
5	鈴木 俊彦	2-45-5	43
6	慈幸 弘樹	2-49-2(S)	53
		2-52-5(L)	53
7	山野 和則	2-50-0(S)	57
		2-50-1(L)	57
8	中塚 泰弘	2-51-1(L)	61
9	浦野 敏明	2-51-2(S)	58
10	富岡 洋三	2-51-9(L)	53

○ 400m個人メドレー

1	東 圭紀	5-09-6(L)	S.62
2	浦野 敏明	5-20-3(L)	59
3	古谷 拓裕	5-25-3(L)	61
4	山本 隆	5-25-9(S)	53
		5-43-6(L)	53
5	久保田勝己	5-38-4(S)	56
6	原田久富美	5-40-1(S)	60
	坂田 純孝	5-40-7(L)	57
8	三好 岳	5-40-7(L)	60
9	富岡 洋三	5-42-0(L)	56
10	吉岡 宏之	5-43-1(L)	57
	村田 功	5-43-1(L)	62

○ 400mメドレーリレー

1	小笠原・後呂・郡・浜田	4-21-1	S・61	
2	徳永・後呂・郡・川原田	4-21-6	60	
3	小笠原・後呂・郡・奥村	4-22-1	62	
4	吉田・後呂・坂田・川原田	4-22-8	59	
	小笠原・後呂・郡・奥村	4-23-0	62	
	徳永・後呂・郡・浜田	4-24-0	61	
	小笠原・後呂・郡・徳永	4-24-4	61	
	徳永・後呂・郡・浜田	4-25-0	60	
	小笠原・林・東・奥村	4-25-2	52	
	徳永・後呂・坂田・川原田	4-25-6	59	
	徳永・後呂・郡・奥村	4-25-6	62	
	5	坂田・長崎・吉岡・川原田	4-26-3	57

○ 400mリレー

1	川原田・浜田・原田・後呂	3-56-4	S・60
2	川原田・吉田・浜田・後呂	3-57-0	59
	川原田・浜田・島崎・後呂	3-57-1	60
3	奥村・郡・東・後呂	3-57-4	62
4	浜田・原田・郡・後呂	3-57-7	61
	吉田・原田・後呂・川原田	3-58-2	59
	浜田・郡・徳永・後呂	3-58-4	61
5	吉田・久保田・金・川原田	3-58-5	57

○ 800mリレー

1	浦野・坂田・後呂・川原田	8-56-5	S・59
2	後呂・郡・古谷・東	8-56-7	62
	東・郡・古谷・後呂	8-56-8	62
3	浦野・金・久保田・川原田	8-57-2	57
4	川原田・浦野・坂田・久保田	8-59-8	58
5	郡・浜田・後呂・川原田	8-59-8	60

(女子の部)

○ 100m自由型

1	川上 景子	1-07-9(L)	S.61
2	村上 美和	1-10-7(L)	60
3	坂東 美枝	1-11-7(S)	56
4	木村 典子	1-12-9(L)	59
5	土井 紀子	1-13-6(L)	54

○ 100m背泳

1	村上 美和	1-16-8(L)	S.61
2	坂東 美枝	1-21-7(S)	58
3	加地 恵	1-24-7(L)	61
4	石本日和子	1-25-5(S)	55
5	竹畠 信子	1-27-9	

○ 200m自由型

1	川上 景子	2-26-4(L)	S.62
2	坂東 美枝	2-37-3(S)	56
3	山口 敦与	2-37-4(L)	60
4	土井 紀子	2-41-5(S)	
5	木村 典子	2-44-2(L)	59

○ 200m背泳

1	村上 美和	2-49-3(L)	S.60
2	坂東 美枝	2-58-6(S)	56
3	加地 恵	3-04-8(L)	61
4	石本日和子	3-10-6(S)	
5	桑本 万里	3-11-3	

○ 400m自由型

1	川上 景子	5-15-2(L)	S.60
2	坂東 美枝	5-18-5(S)	56
3	山口 敦与	5-28-7(L)	60
4	土井 紀子	5-45-0(S)	
5	桑本 万里	5-54-3	

○ 100m平泳

1	松井 玲子	1-30-3	
2	川島えみこ	1-32-0(S)	S.56
3	国本 温代	1-33-1(S)	
4	坂東 美枝	1-33-8(S)	56
5	石本日和子	1-34-1(S)	56

○ 100mバタフライ

1	坂東 美枝	1-14-3(S)	S.57
2	川上 景子	1-20-9(L)	60
3	大野 智恵	1-25-6(S)	52
4	石本日和子	1-26-6(S)	55
5	嶋田 陽子	1-32-8(S)	

○ 200m平泳

1	川上 景子	3-06-2(S)	S.61
		3-10-2(L)	60
2	川島えみこ	3-16-6(S)	58
3	坂東 美枝	3-17-6(S)	
4	松井 玲子	3-20-3	52
5	桑本 万里	3-33-8	

○ 200mバタフライ

1	坂東 美枝	2-44-7(L)	S. 57
2	川上 景子	3-00-7(S)	60
3	大野 智恵	3-26-9	
4	嶋田 陽子	3-32-4(L)	55
5	石本日和子	3-44-9(L)	

○ 200m個人メドレー

1	川上 景子	2-55-5(L)	S. 61
2	坂東 美枝	2-54-5(L)	56
3	村上 美和	2-54-8(L)	61
4	石本日和子	3-07-5(S)	56
5	桑本 万里	3-09-7(S)	52

○ 400m個人メドレー

1	川上 景子	5-53-0(L)	S. 62
2	坂東 美枝	6-04-0(S)	56
3	村上 美和	6-35-2(S)	61
4	石本日和子	6-52-5(L)	
5	嶋田 陽子	7-00-9(L)	55

○ 200mメドレーリレー

1	長谷川・栗野・高木・大野	2-21-8	S. 50
2	桑本・酒井・大野・土井	2-35-4	53
	長谷川・松井・大野・高木	2-35-5	50
3	石本・国本・坂東・中北	2-36-4(L)	56
4	越智・川島・坂東・木村	2-38-5(L)	57

○ 200mリレー

1	木村・山口・村上・川上	2-08-3	S. 60
2	川上・村上・加地・林	2-09-8	61
	加地・山口・村上・川上	2-10-6	60
3	村上・川上・加地・枝沢	2-11-8(L)	62
	村上・山口・枝沢・川上	2-11-9(L)	62
	川上・村上・林・山口	2-13-4	60
	川上・村上・加地・枝沢	2-14-1(L)	62
4	土井・中北・石本・坂東	2-14-3	56
5	長谷川・桑本・高木・大野	2-16-3	51

○ 400mメドレーリレー

1	村上・山口・川上・木村	5-31-1	S. 60
2	加地・三住・坂東・木村	5-35-6	59
3	村上・林・川上・加地	5-37-7	61
	村上・三住・川上・山口	5-38-8	60
4	石本・川島・坂東・木村	5-40-0	57
5	石本・国本・坂東・土井	5-41-0	56

○ 400mリレー

1	川上・村上・山口・木村	4-45-1	S. 60
2	川上・村上・加地・林	4-50-1	61
	村上・加地・山口・川上	4-51-8	60
3	村上・川上・加地・枝沢	4-59-9	62
	林・加地・村上・川上	5-01-6	60
	川上・村上・加地・枝沢	5-03-7	62
	山口・枝沢・村上・川上	5-04-6	62
4	坂東・林・加地・木村	5-06-7	59
	枝沢・加地・村上・川上	5-07-5	62
5	木村・石本・川島・坂東	5-07-8	57

○ 女子の方につきましては、

松井 玲子 (P25) (旧姓 山田) 長谷川美智子 (P25) (旧姓 浜 西)
 大野 智恵 (P27) (旧姓 有本) 桑本 万里 (P28) (旧姓 清 水)
 土井 紀子 (P30) (旧姓 寺尾) 酒井 恵 (A30) (旧姓 森 田)
 嶋田 陽子 (P30) (旧姓 辻) 中北 路代 (P31) (旧姓 小井戸)

となっております。

凌 泳 会 会 則

第 1 章 総 則

- 第 1 条 (名 称) 本会は凌泳会と称する。
- 第 2 条 (事 務 局) 本会は事務局を神戸市灘区六甲台町神戸大学に置くこととし、宛名は同大学学生課気付「凌泳会」とする。
- 第 3 条 (目 的) 本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする。
- 第 4 条 (事 業) 本会は前条の目的を達成する為に下記の事業を行なう。
1. 会誌「凌泳」の発行
 2. 会員相互の連絡
 3. 定例総会及び各種の親睦会合
 4. 神戸大学水泳部発展の為に指導及び援助
 5. その他、本会の目的を達成するに必要な事項
- 第 5 条 (会則の改廃) 本会則の制定及び変更は総会の決議によって行なう。

第 2 章 会 員

- 第 6 条 (会 員) 本会の会員を分けて正会員、特別会員、準会員及び在学会員とする。
- 第 7 条 (正 会 員) 正会員とは、次のものを云う。
- 国立神戸高等商業学校 国立神戸商業大学 神戸経済大学 同附属経営学専門部
神戸大学 以上の諸学校に於て在学中水泳部に所属したもの。
- 第 8 条 (特別会員) 特別会員とは次のものを云う。
1. 前条の諸学校で水泳部々長及び副部長であった者及び現在ある者。
 2. その他、総会の決議によって推薦した者。
- 第 9 条 (準 会 員) 準会員とは前 2 条に該当する者以外の者で神戸大学水泳部と行動を共にし、その活動に協力した者の内、本人が入会を希望し且つ在学会員より推薦のあった者を云う。
- 第 10 条 (在 学 会 員) 在学会員とは次のものを云う。
- 現在、神戸大学々生で水泳部に所属する者。
- 第 11 条 (会 費) 正会員は会費として年額 6,000 円を当会へ納入する。但し卒業後 44 年を経過した者は会費を免除する。準会員は会費として正会員の半額を当会へ

納入する。

第 3 章 役 員

第 12 条 (役 員) 本会に次の役員を置く。

会 長 1 名

副 会 長 2 名

監 事 若干名

幹 事 長 1 名

本 部 幹 事 若干名

支 部 幹 事 若干名

第 13 条 (改 選) 役員改選は総会の決議によって行なう。

第 14 条 (任 期) 役員任期は 1 年とし再選を妨げない。

第 15 条 (会 長) 会長は本会を代表し且つ統轄する。

第 16 条 (副 会 長) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

第 17 条 (監 事) 監事は本会の会務及び会計を監査する。

第 18 条 (幹事長及び本部幹事) 幹事長及び本部幹事は会長、副会長を補佐し総括的会務の執行に当る。

第 19 条 (支部幹事) 支部幹事は各支部の事務を執行すると共に、本部の諸活動に協力する。

第 4 章 総 会

第 20 条 (招 集) 総会は少くとも 2 週間以前に会議の目的を明らかにした通知を以って会長がこれを招集する。

第 21 条 (時 期) 総会は毎年 5 月に開催するものとし、臨時総会は必要に応じて招集する。

第 22 条 (議 長) 総会の議長は会長がこれにあたる。

第 23 条 (議 決) 総会の決議は出席正会員の過半数をもって決する。但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示したものは出席とみなす。

第 5 章 会 計

第 24 条 (経 理) 本会の経理は、会費・寄付金及びその他の収入によって賄う。

第25条（決算） 本会の収支決算については、会計の監査を経た上、春季総会に於て報告しその承認を受ける。

第26条（期間） 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までとする。

第6章 凌泳の送付

第27条 本会員で会費を3年間滞納した者には「凌泳」の送付を停止する。但し特別の事情が有る者（海外駐在員等）は除くものとする。

第7章 雑 則

第28条 本会則は昭和58年5月29日より発効する。

附記（退会者の取扱について）

昭和57年度総会において下記のとおり決定した。

文書その他の方法で退会の意志を表明した者は退会を認める事とし、その事実を明確にする為、名簿の最後に退会者欄をもうける。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
DEPARTMENT OF CHEMISTRY
58 CHEMISTRY BUILDING
CHICAGO, ILLINOIS 60637
TEL: 773-936-3700
FAX: 773-936-3701
WWW: WWW.CHEM.UCHICAGO.EDU

凌泳会役員名簿

会 長	小 山 賢之助(昭7学)	
副 会 長	吉 野 栄(昭15学)	山 口 宗 樹(昭16学)
監 事	伊 藤 英 二(昭13学)	三 宅 林(昭21学)
幹 事 長	(空 席)	
幹 事	富 岡 道 雄(昭31B)	
	井 上 与志男(昭47J)	
	上 田 剛 弘(昭56B)	
会計担当幹事	山 本 隆(昭57E)	
凌泳編集幹事	石 井 義 章(昭27学)	
支 部 幹 事		
(関 東)	支部長 山 口 宗 樹(昭16学)	
	佐 敷 定 雄(昭49A)	呉 竹 正 人(昭59J)
	浦 野 敏 明(昭60B)	
(中 部)	支部長 井 上 隆 史(昭37)	
(中 国)	支部長 大 内 義 仁(昭14学)	
(四 国)	支部長 中 村 市 治(昭15学)	
(九 州)	支部長 印 藤 勝 美(昭18学)	
(関 西)	支部長 吉 野 栄(昭15学)	
	京 都 柳 本 正 雄(昭37B)	
	阪 神 橋 本 力(昭30T)	富 岡 道 雄(昭31B)
	姫 路 山 口 仁 郎(昭32B)	
運 営 委 員	三 宅 林(昭21学)	
	石 井 義 章(昭27学)	
	富 岡 道 雄(昭31B)	
	岡 田 重 義(昭37B)	

物 故 会 員

氏 名	卒業年次(回)	氏 名	卒業年次(回)
藤 井 正太郎	特	土 肥 駒次郎	昭 7高 26
多 田 徳 雄	特	鈴 木 栄二郎	7学 1
山 田 幸 男	特	鍵 本 芳 次	8 2
北 村 五 良	大 6高 11	熊 野 利 夫	8 2
小笠原 房 穂	10 15	小 西 熊 雄	9 3
白 山 源三郎	10 15	片 山 四 郎	11 5
中 村 精 一	10 15	野 村 弘	11 5
天 野 俊 一	10 15	栄 口 昌 二	12 6
加 納 茂	11 16	村 上 秀 造	13 7
野 田 曾 一	11 16	高 橋 徴	13 7
岡 本 幸 一	12 17	富 岡 喜一郎	13 7
榊 原 零 一	12 17	岡 野 巖(旧姓)土屋	13 7
山 村 馨	12 17	和 泉 真 弘	14 8
山 下 虎 蔵	13 18	松 本 勇	14 8
中 村 信 三	13 18	福 永 拓 造	14 8
鈴 木 不覇雄	14 19	新 原 拓 夫	15 9
繁 益 繁治郎	14 19	尾 原 芳 行	16 8
古 林 喜 楽	14 19	部 坂 克 夫	16 10
三 輪 嘉一郎	15 20	恩 地 正 伍	16 10
高 田 寿 三	15 20	鈴 木 啓 介	16 10
大 谷 親之輔(旧姓)井関	昭 2 21	井 上 正 平	16 11
大 島 勝 利	2 21	柏 木 慶 三	16 11
中 村 毅	2 21	稻 垣 懋	16 11
浅 野 猛 雄	3 22	山 口 八 郎	17 12
田 川 亮 一	3 22	池 田 勲 治	18 13
阪 本 豊 一	3 22	前 田 礼 之	19 14
作 田 耕 三	3 22	伊 藤 一 郎	21 16
白 井 儀 三	3 22	斉 藤 嘉一郎	21 16
東 光 武 三	4 23	衣 川 昭	24専 1
尾 上 長三郎	4 23	鈴 木 富 夫	25学 20
川 西 武 雄	7 26	中 島 功	28 E 1
太 田 清	7 26	今 井 彰	30 J 3

昭和 62 年度物故者 鈴木栄三郎(62.8.28)

岡野 巖(63.1.21)

商 神

1. 商神彩なす翹をあげて
靈杖遙に東を指せば
靈しき果実は雲間を漏りて
秋津島根に落つとぞ見えし
所はここぞ菊水かおる
淡河原の近きほとりに
かく伝わりし天のさとしも
人はさとらで幾年か経ぬ
2. 神の息吹のこもりて成りし
靈果いかで地に朽つべき
豊栄のぼる朝日のかげに
八州の外の潮風吹きて
いつしか催す気運に乗じ
わが学校ぞ世に生まれたる
眠る 商界夢さますべき
使命は天の授けし所
3. 此処摩耶の山六甲の峰
連り亘る山ぶところに
数若鷹はぐくまれ居て
静かにうかぶ雲の行きかい
朝妙なる琴のひびきは
敏馬の浜に松を吹く風
夕やさしき舞の姿は
茅渚の浦曲に白帆行く影
4. 希望に満てる春の潮の
寄せてはかえす清き渚や
熱誠もゆる夏の盛りを
いたわる風の葺合の里
須磨や明石をかけて照るらん
月には物のあわれをぞ知る
冬は凍たる後に嵐
奔馬空行く勢示す
5. 天れ山水の秀麗の気は
偉人傑士を起たしむとかや
天の使命を胸に収めて
清き自然に抱かれながら
筋骨鍛え智徳を研く
切磋琢磨の三年の春秋
養い得たるうつ物の意気
抱負を語れや干余のおのこ
6. 金毘無欠の三千余年
かがやく光は剣の誉
心はおなじ大和男子の
我等は牙幢を執って起ちなん
日出ずる旗を高くかさして
日入らぬ国と手を携えて
目ざす平和の戦の場に
匂う御国の花ぞ咲かせむ
7. 雄飛の時ぞとねぐら離れて
野に立出ずる蒼鷹幾羽
爪も研ぎぬ力も足りぬ
尋にも余るつばさを張れば
枝の百鳥皆おそれ伏す
扶揺万里の風を起して
おのが向々東に西に
雲に突き入る勢見るや

商 神

しょうしん あやなす つばさをあげて
れいじゅう はるかに ひがしをさせば
くしき このみは くもまをもりて
あきつ— しまねに おつとぞ みえしと
こ—ろは ここぞき くすいか おるみ
などが わらのち かきほとりに *rit*
かくつ たわりし あめのさとしも
ひとはさとらで いくとせかへぬ

宇宙を股に

神戸大学応援歌

作詩 古林 喜楽

作曲 竹内 平吉

勇壮に元気よく

まやろっとうに いだかれーて
みどりのそのに はなふりかゝる
ここおかのーべの わこーどーが
もゆるおもいを むねにひーめ
まなぶやゆうひの ときをきし

一

摩耶六甲に抱かれて
緑の園に花ふりかか
る
ここ丘の上の若人が
燃ゆる思いを胸に秘め
学ぶや雄飛の時を期し

二

ヒマラヤ杉を背に受けて
茅渚の浦ゆ紀伊の山
右手に四国よ淡路島
左手にうかぶ金剛山
大らかにぞ抱負わく

三

燃ゆる紅葉たそがれて
宵闇せまる山路を踏めば
真理に挑む若鷹が
ネオンの海を見おろして
いよ上決意をかたむ哉

四

身にしみわたる峯おろし
冬来りなば春近し
渠立つ晴れの日時せまる
翼ひろげて悠然と
宇宙を股に羽ばたかん

栄光は常にわれらに

神戸大学応援歌

作詞 敷島富四雄
作曲 黒田 浩一
編曲 土橋 康宏

たて や たー て われらがえらばれ
しせんし ぼころのたかき ほまれにかけて た
だ めざす しゅうりのかむり
ふる えいざ ふるーえ ちからのかぎり かがやかんえい
こうはうーね に われらーにー
こうべこうべこうべ われらがこうべだいがーく ゆけ

一

起てや起て
われらが選ばれし戦士
母校の高き誓にかけて
ただ目指す勝利の栄冠
振るえいざ振るえ力の限り
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸
われらが 神戸大学

二

征けや征け
われらが選ばれし戦士
若人の大い誇を秘めて
胸深く制覇の誓
振るえいざ振るえ雄々しく強く
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸
われらが 神戸大学

三

開けや開け
われらが選ばれし戦士
青春の若き血潮たぎらせ
相和するからどきの歌
振るえいざ振るえ意気いや高く
輝かん栄光は常にわれらに
神戸 神戸
われらが 神戸大学

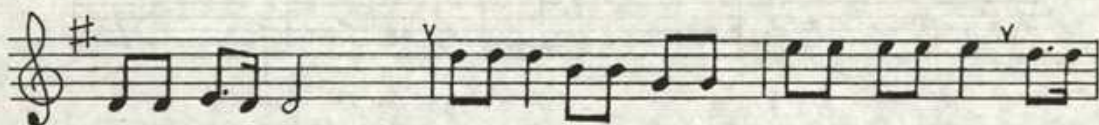
水 泳 部 歌

作詩 古林 喜楽

作曲 山田 貴彦



1. ま やろっこうに いだかれて ここむこがおかの
 2. フリー ブレスト バタフライ バックリレーに
 3. ああなつかしの すいえいぶ ろっこうだいのー



みずきよし ちぬのうらわを みおろしてしぶ
 ボロまでも ぬうえいけんじの いきたかしいざ
 ブールベに つきみのえんでー およぎやめくる



き(しぶき) をあー げ る け ん だー ん じ
 や(いざや) ーきそ わ ん う で をーぶし
 な(くるな) つまっ ー て い き りー た つ

一、摩耶六甲に抱かれて

ここ六甲ヶ丘の水清し
 茅渚の浦曲を見下して
 しぶきをあげる健男子

二、フリー ブレスト バタフライ

バック リレーにボロまでも
 凌泳健児の意気高し
 いざや競わん腕を撫し

三、ああ懐しの水泳部

六甲台のプール辺に
 月見の宴で泳ぎ止め
 来る夏待っていきり立つ

昭和六十三年六月一日発行
発行所 神戸市灘区六甲台町二

凌 氷 会
神戸大学水泳部

原稿等郵送宛先

〒657

神戸市灘区六甲台町
神戸大学体育会水泳部

会費等振込口座

郵便振替口座番号

神戸 一の一一八四一

加入者名

神戸大学凌氷会

編集責任者

石井 義章
古谷 拓裕

発行責任者

黒田 茂
神戸市東灘区住吉本町二丁目一一七

印刷所

小野印刷株式会社
電〇七八一八五一〇六〇一